

平成26年度

「特色ある学校づくり」計画に係る
市立高等学校教育満足度調査
報告書



さいたま市立高等学校 進学指導重点プロジェクト

難関大チャレンジセミナー

平成27年3月
さいたま市教育委員会

<目 次>

1	調査の概要	
(1)	調査の目的	2
(2)	調査対象	2
(3)	調査時期	2
(4)	調査方法	2
(5)	回答者（生徒）の男女比	2
2	調査結果	
(1)	学校全般に対する満足度（生徒・保護者）	3
(2)	市立高等学校満足度調査の推移（生徒）	4
(3)	市立高等学校満足度調査の推移（保護者）	5
(4)	最終学歴の希望（生徒・保護者）	6
(5)	学校生活の充実度（生徒）	7
(6)	個別分野についての満足度（生徒）	8
(7)	授業の満足度（生徒）	11
(8)	授業の理解度（生徒・保護者）	12
(9)	生徒が望む授業、学習の内容や形態（生徒）	15
(10)	学校の取組に対する保護者の満足度（保護者）	22
(11)	授業、学習の内容や形態についての保護者の意見（保護者）	28
(12)	学校の経営や運営に関する取組についての保護者の考え（保護者）	31

1 調査の概要

(1) 調査の目的

さいたま市立高等学校「特色ある学校づくり」計画の推進にあたり、市立高等学校教育に係る満足度の現状と課題を把握するため行うものである。

(2) 調査対象

調査及び対象	母集団	方法	手続き	回収数
①生徒調査 市立高等学校生徒	3887	抽出	各校各学年よりそれぞれ 2学級ずつ抽出	958
②保護者調査 上記生徒の保護者	3887	抽出	①の生徒の保護者	739

(3) 調査時期

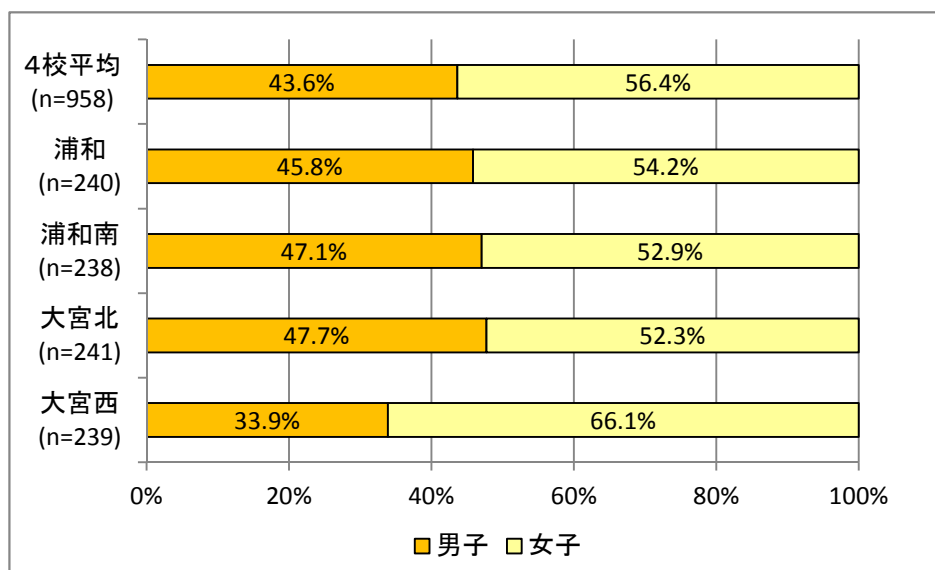
平成26年12月に調査票を配付、平成27年2月に回収。

(4) 調査方法

各調査における調査票の配付・回収方法は下表のとおりである。

調査	配付方法	回収方法
①生徒調査	学校を通じて配付	学校を通じて回収
②保護者調査	生徒を通じて配付	回収用封筒に封入し、生徒から学校を通じて回収

(5) 回答者（生徒）の男女比

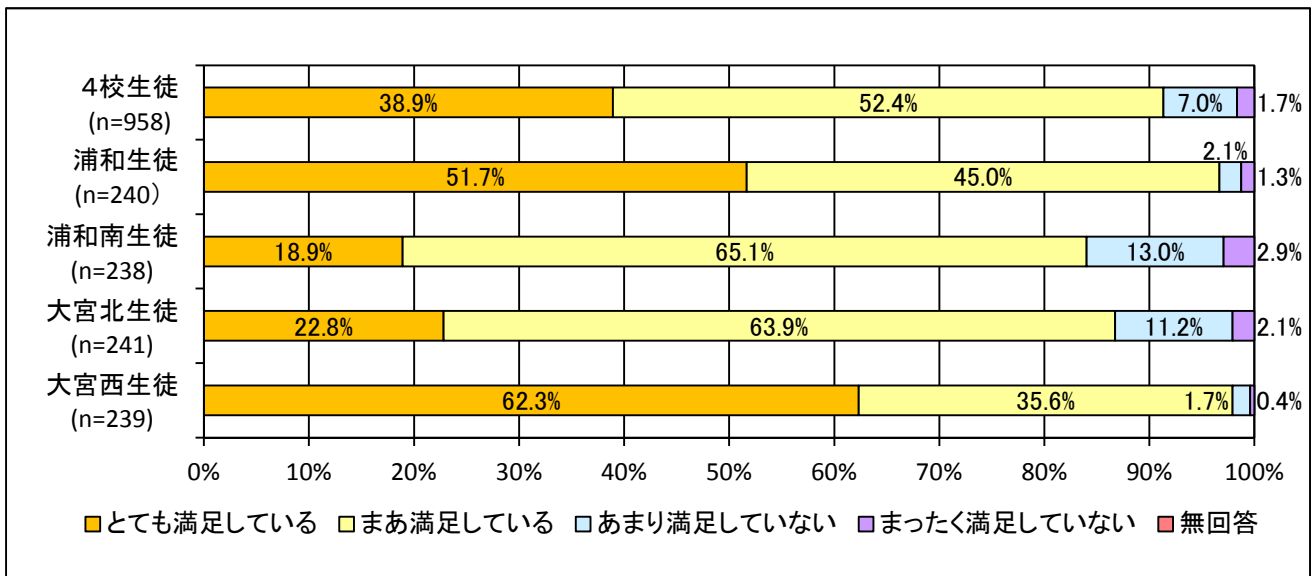


2 調査結果

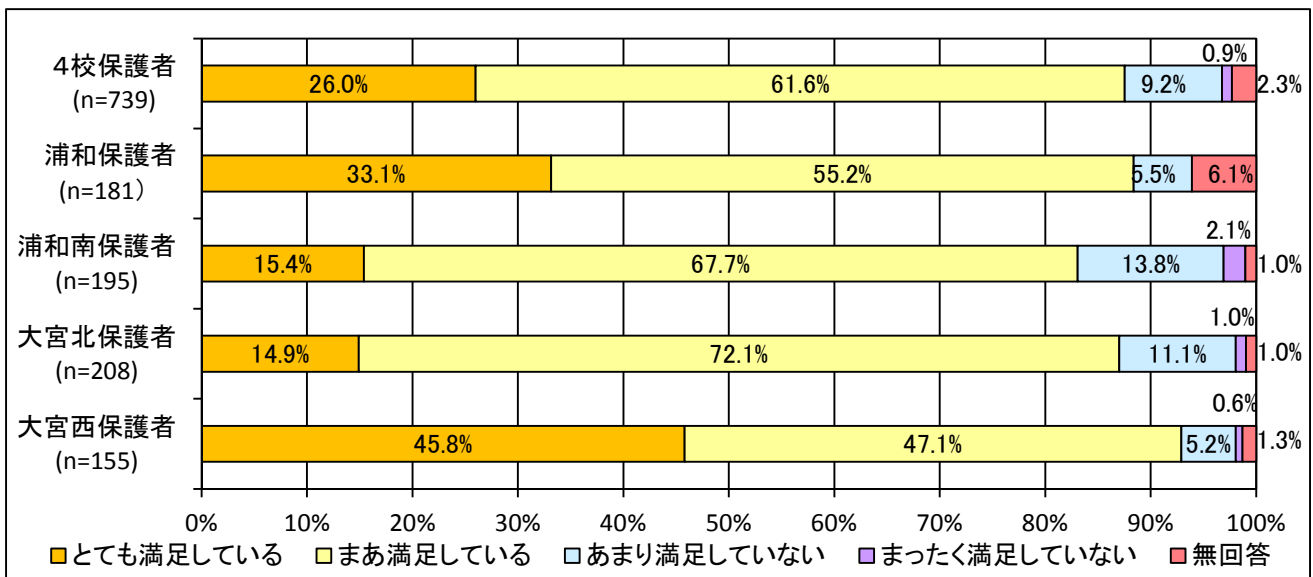
(1) 学校全般に対する満足度（生徒・保護者）

- 「4校生徒」で、「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合は91.3%で、前年度比0.6ポイント減。
- 「とても満足している」「まあ満足している」と回答した保護者の割合は87.6%で、生徒よりも若干低いものの、4校全てで80%以上となっている。
- 浦和、大宮西では、生徒は「とても満足している」と回答している割合が高い。
- 浦和南、大宮北では、生徒、保護者とも「まあ満足している」と回答している割合が高い。

生徒

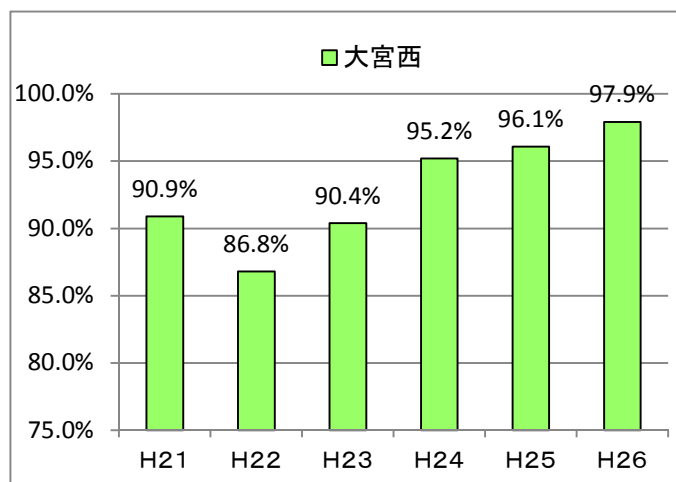
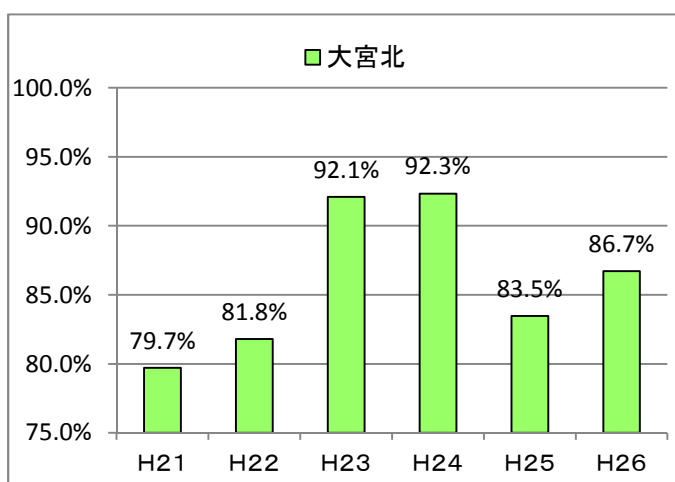
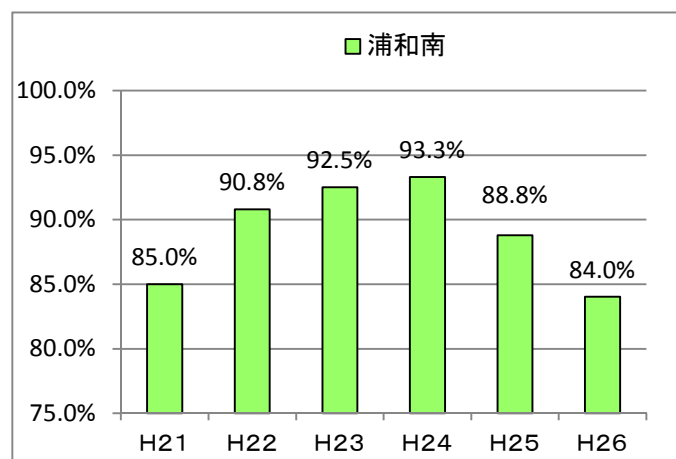
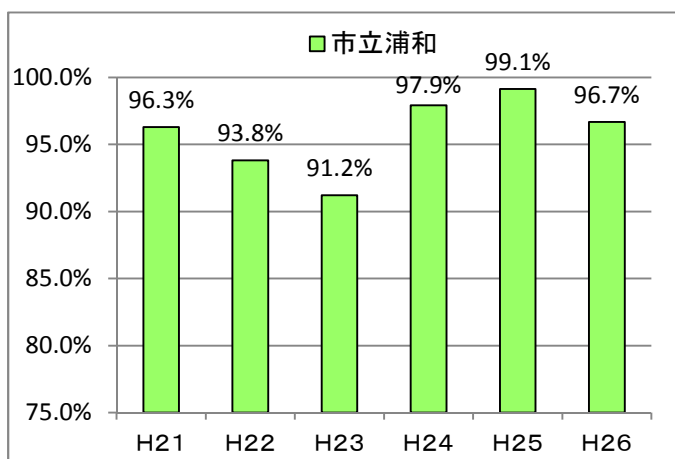
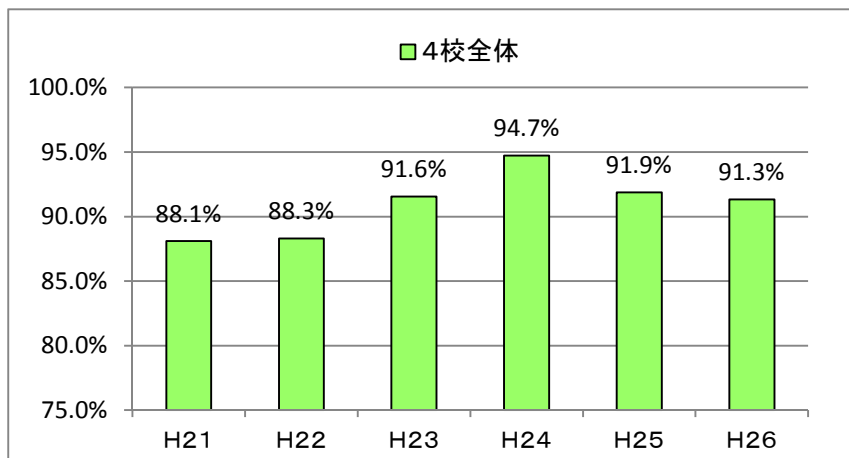


保護者



(2) 市立高等学校満足度調査の推移 (生徒)

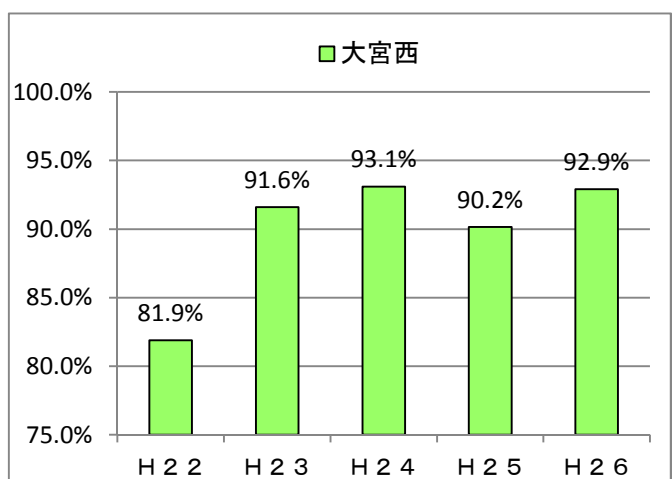
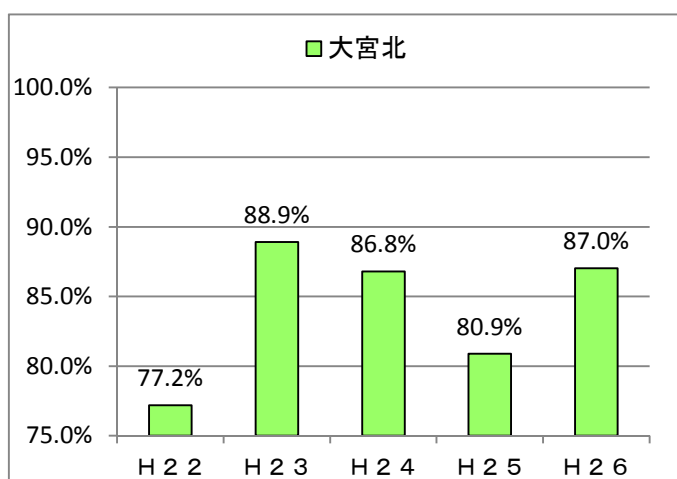
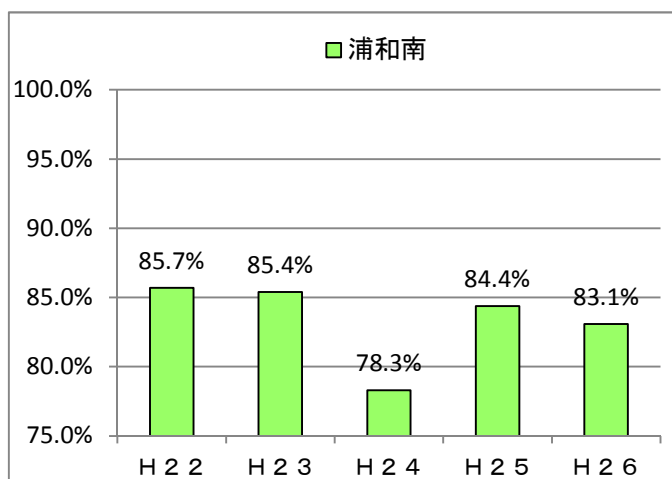
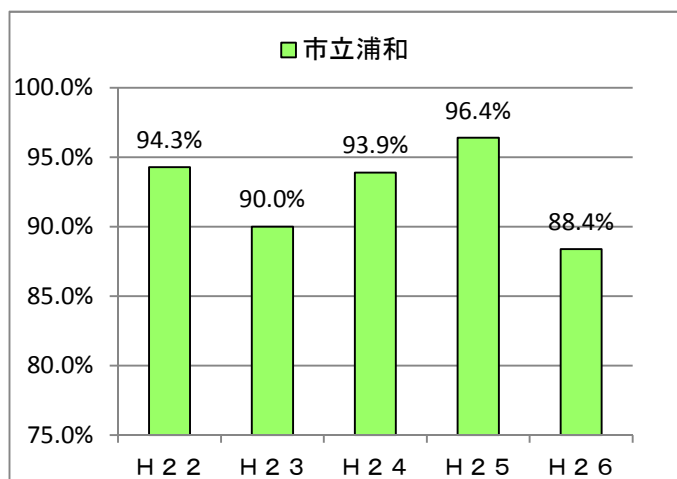
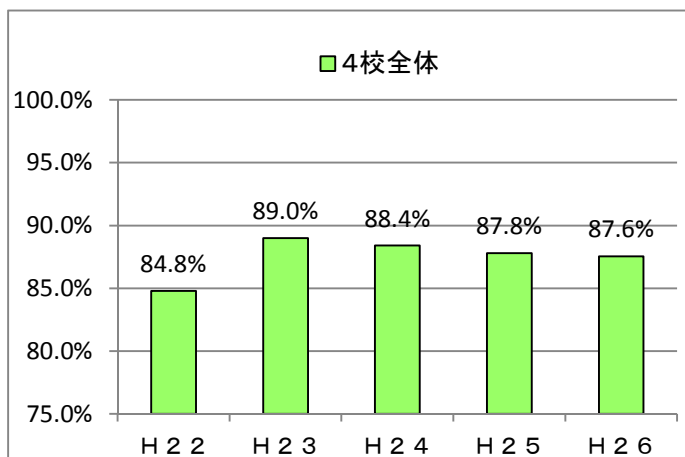
<学校全般について (生徒)>



- 4校全体では2年連続で満足度が下降し、前年度比0.6ポイントの減。
- 浦和は前年度比2.4ポイントの減。
- 浦和南は前年度比4.8ポイントの減。
- 大宮北は前年度比3.2ポイントの増。
- 大宮西は前年度比1.8ポイントの増。

(3) 市立高等学校満足度調査の推移（保護者）

<学校全般について（保護者）>

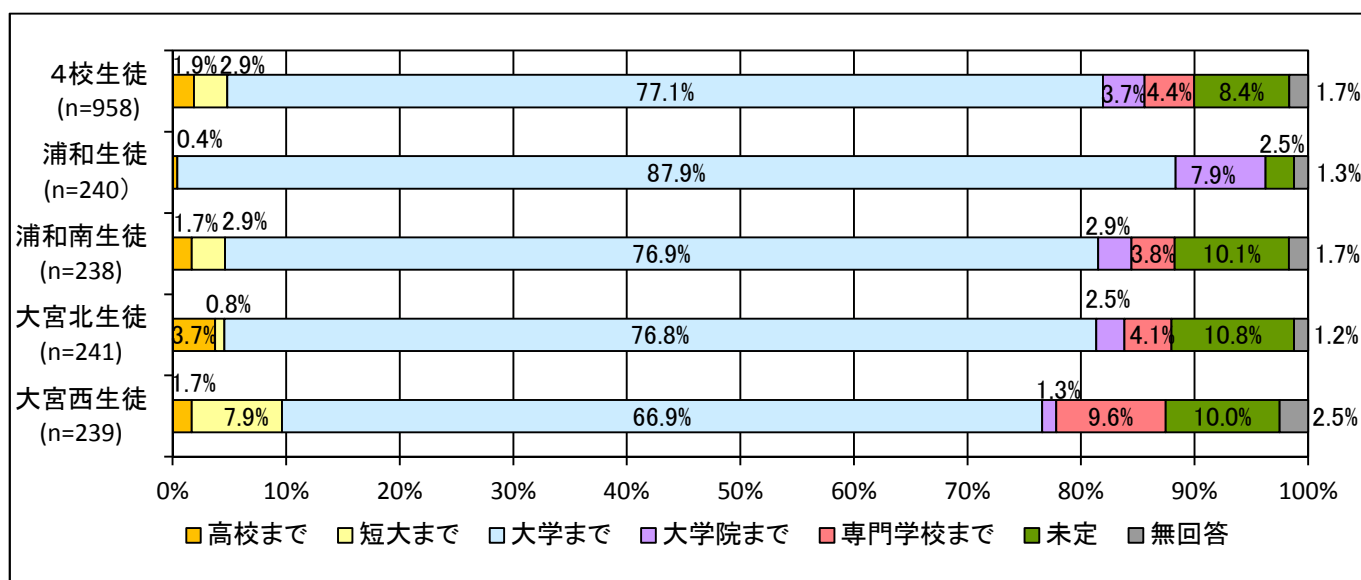


- 4校全体では、前年度比0.2ポイントの減のほぼ横ばい傾向が続いている。
- 浦和は前年度比で8.0ポイントの減。
- 浦和南は前年度比1.3ポイントの減。
- 大宮北は前年度比6.1ポイントの増。
- 大宮西は前年度比2.7ポイントの増。

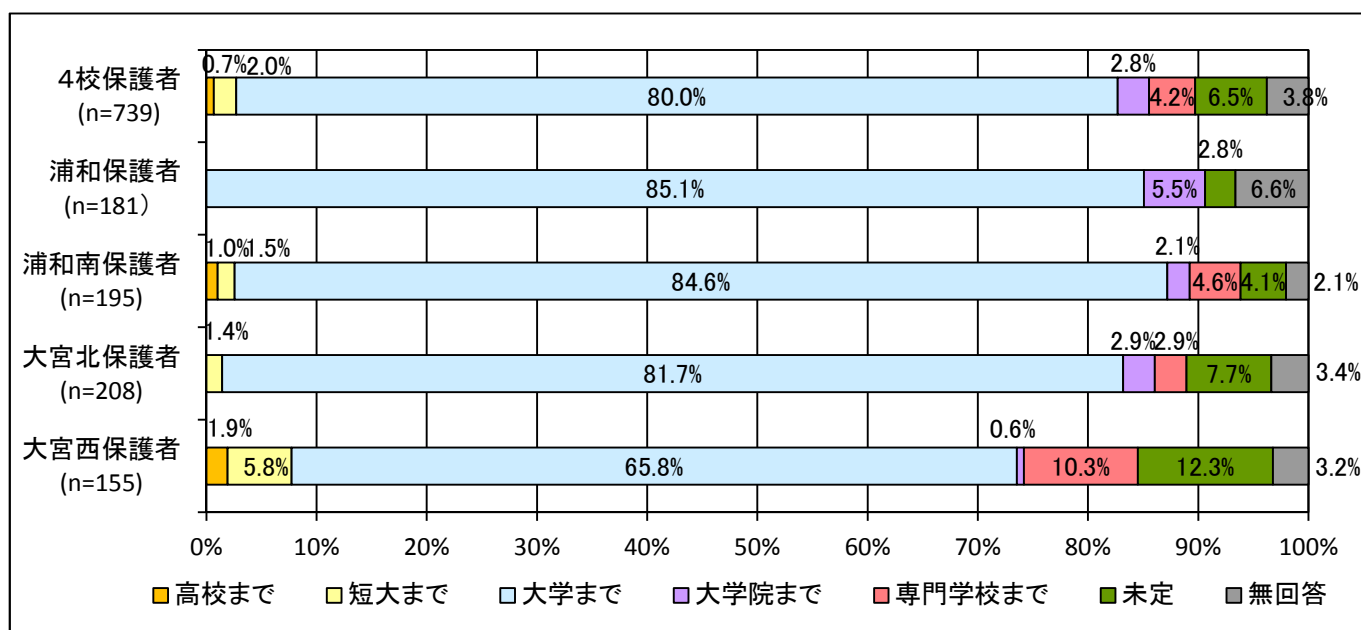
(4) 最終学歴の希望（生徒・保護者）

- 「4校生徒」で「大学まで」と回答した生徒は77.1%で、4校全てで最も割合が高く、「大学院まで」と回答した生徒を合わせると80.8%で、前年度比2.1ポイントの減となっている。「未定」は8.4%で、前年度比0.9ポイントの増となり、3校で10%以上となっている。
- 「生徒」と「保護者」の最終学歴の希望は概ね一致している。4校全てで「大学まで」「大学院まで」と回答した保護者が前年度より減り、「4校保護者」では82.8%で、前年度比3.5ポイントの減となっている。

生徒



保護者

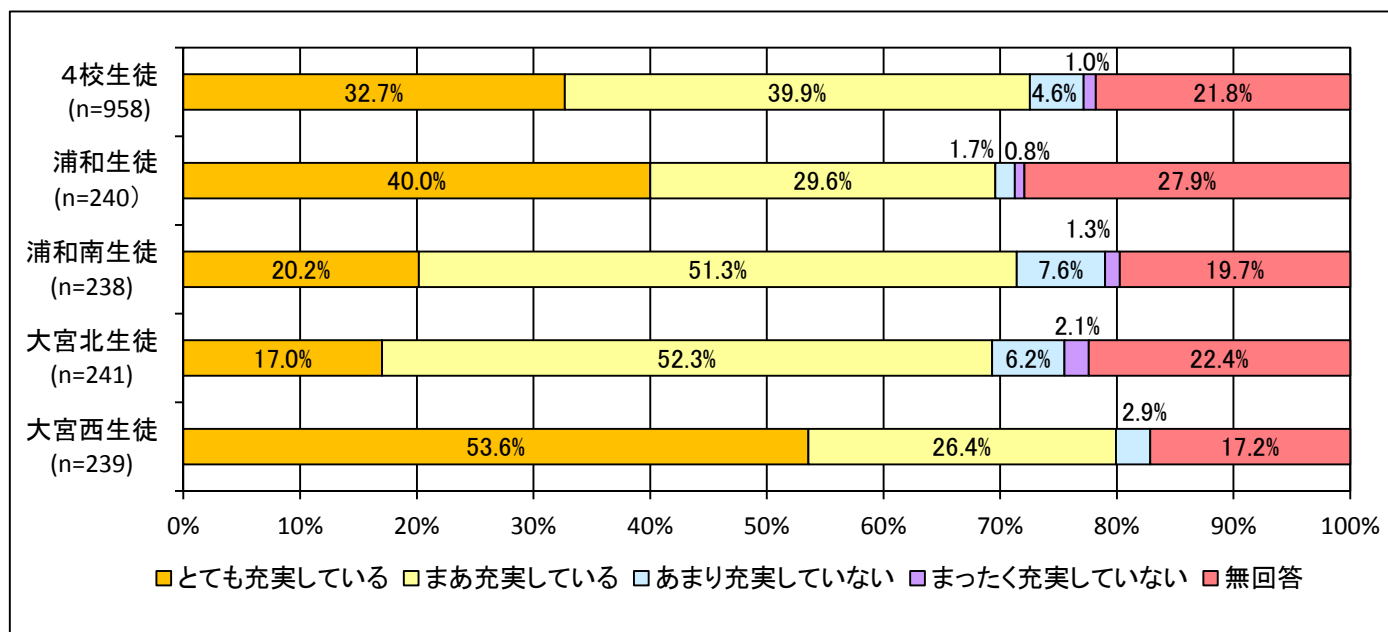


(5) 学校生活の充実度（生徒）

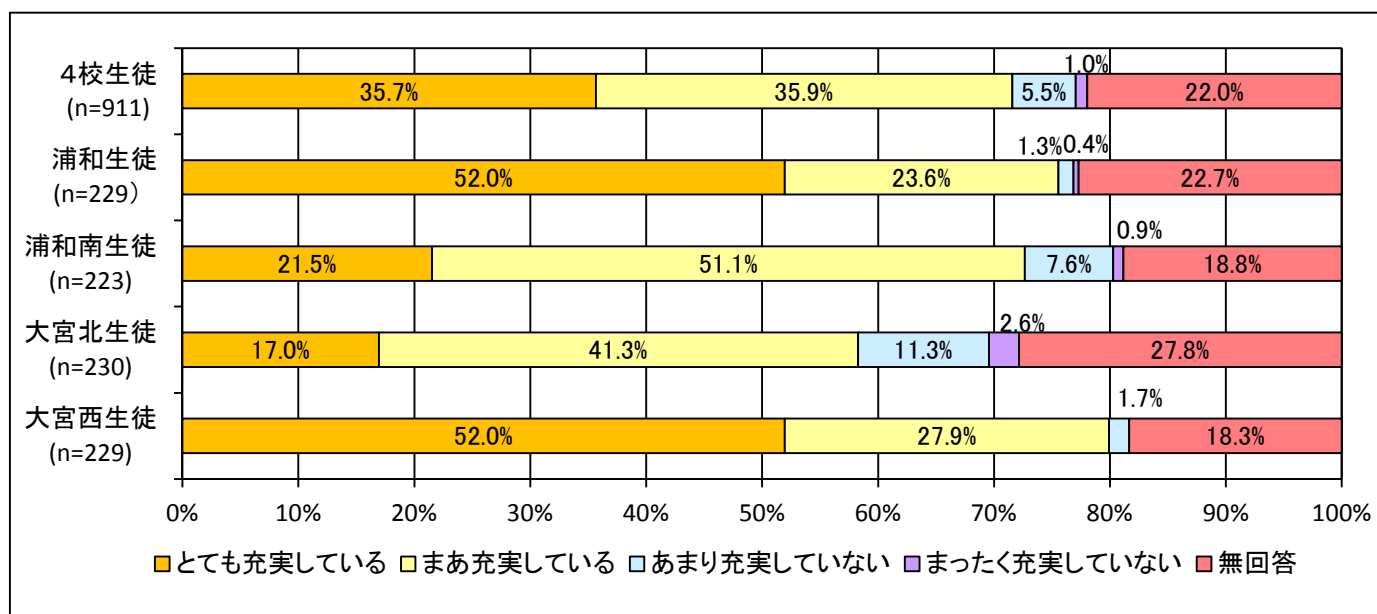
- 「4校生徒」で「とても充実している」「まあ充実している」と回答した割合が 72.6%で、前年度比 1.0 ポイントの増となった。
- 昨年度に引き続き、「4校生徒」で無回答の割合が 20%を超えている。

平成 26 年度

【学校生活の充実度】



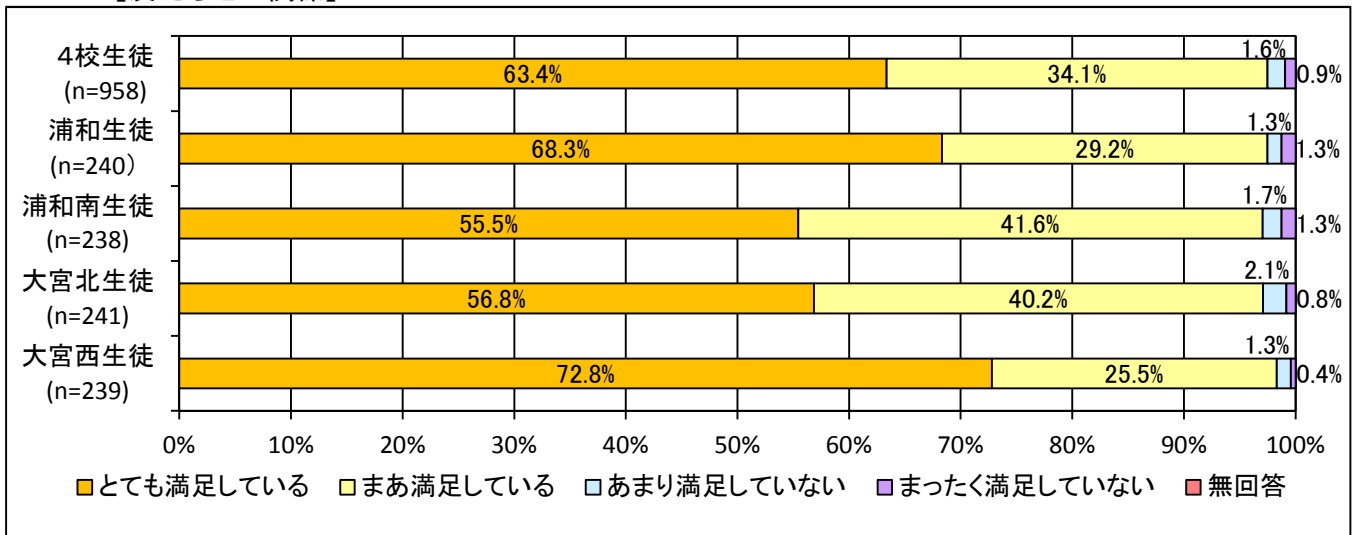
平成 25 年度（参考）



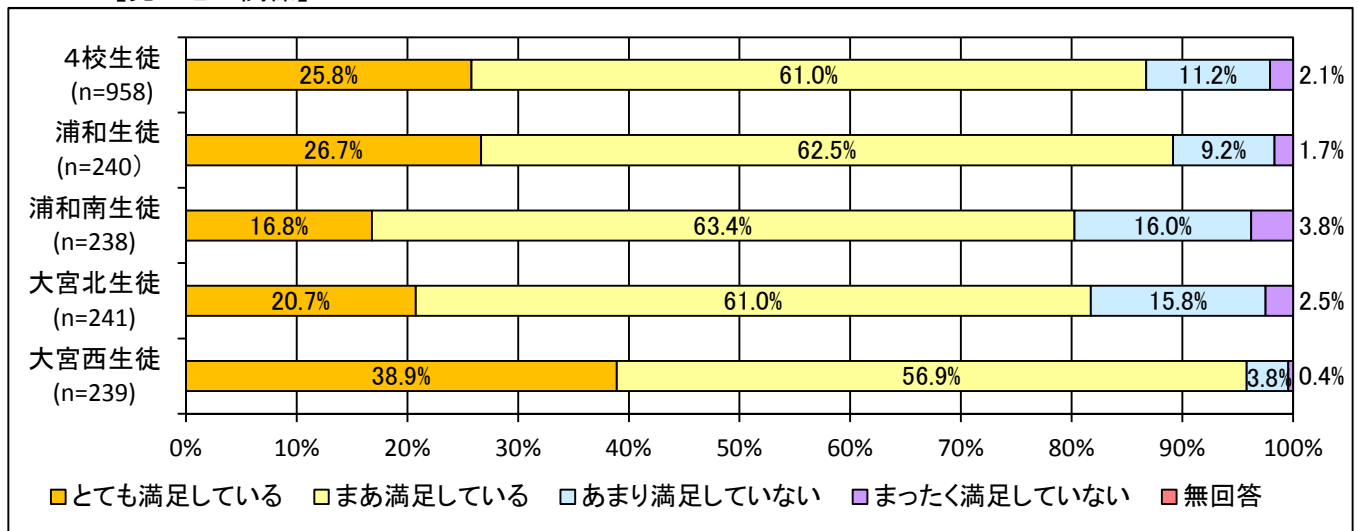
(6) 個別分野についての満足度（生徒）

- 「友だちとの関係」では4校全てで「とても満足している」と回答した割合が高く、「まあ満足している」と回答した割合と合わせると95%を超えている。
- 「先生との関係」では4校全てで「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合が80%を超えている。
- 「学校行事（宿泊学習・体育祭など）」では、4校全てで「とても満足している」と回答した割合が減り、「4校生徒」では90.7%で、前年度比4.1ポイントの減となっている。
- 「部活動」では、「4校生徒」で「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合は87.4%で、前年度比0.2ポイントの増となっている。
- 「進路指導」「校舎や教室、設備の使いやすさ」については、「あまり満足していない」「まったく満足していない」と回答した割合は各校で差が見られる。
- 「いじめへの対応や教育相談体制」については、4校全てで「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合が85%を超え、「4校生徒」では92.2%で、前年度比1.9ポイントの増となっている。
- 「服装・頭髪等に対する指導」については各校の差が大きく、各高校における生徒指導の取組に対し、生徒がどのような意識を持っているかがうかがえるものの、4校全てで「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合が増え、「4校生徒」では79.4%で、前年度比8.4ポイントの増となっている。

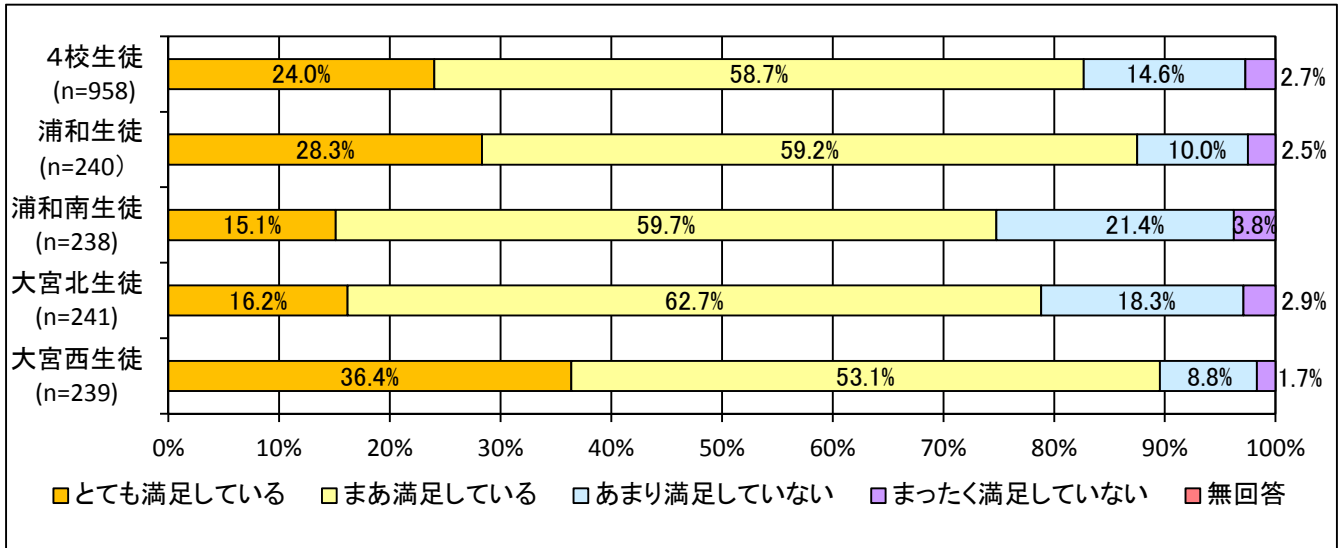
【友だちとの関係】



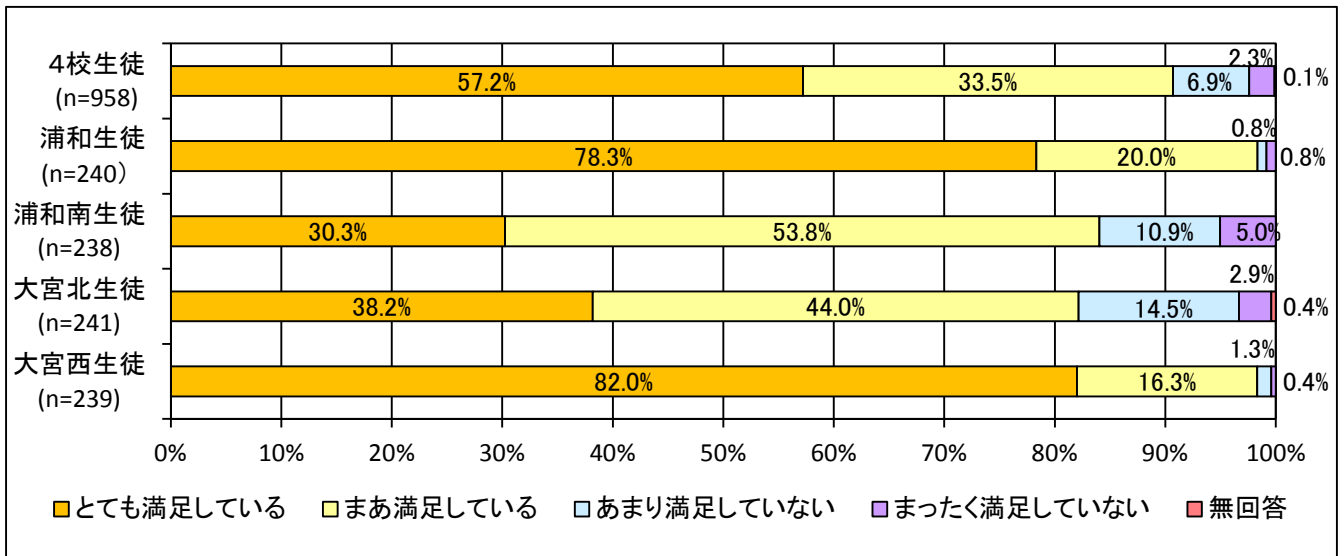
【先生との関係】



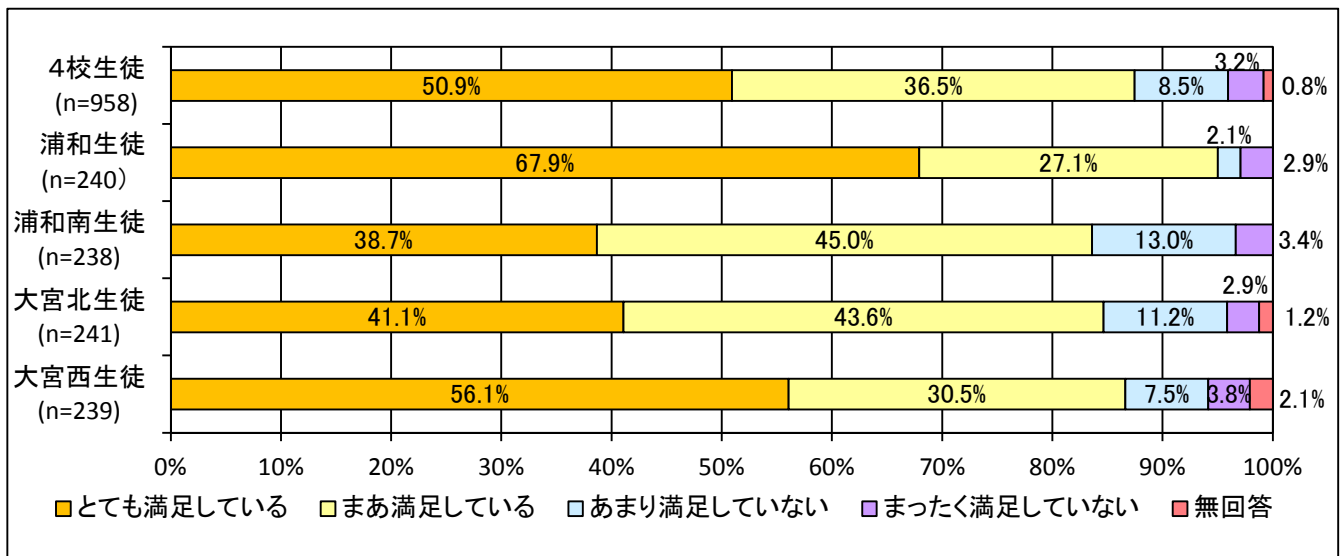
【進路指導】



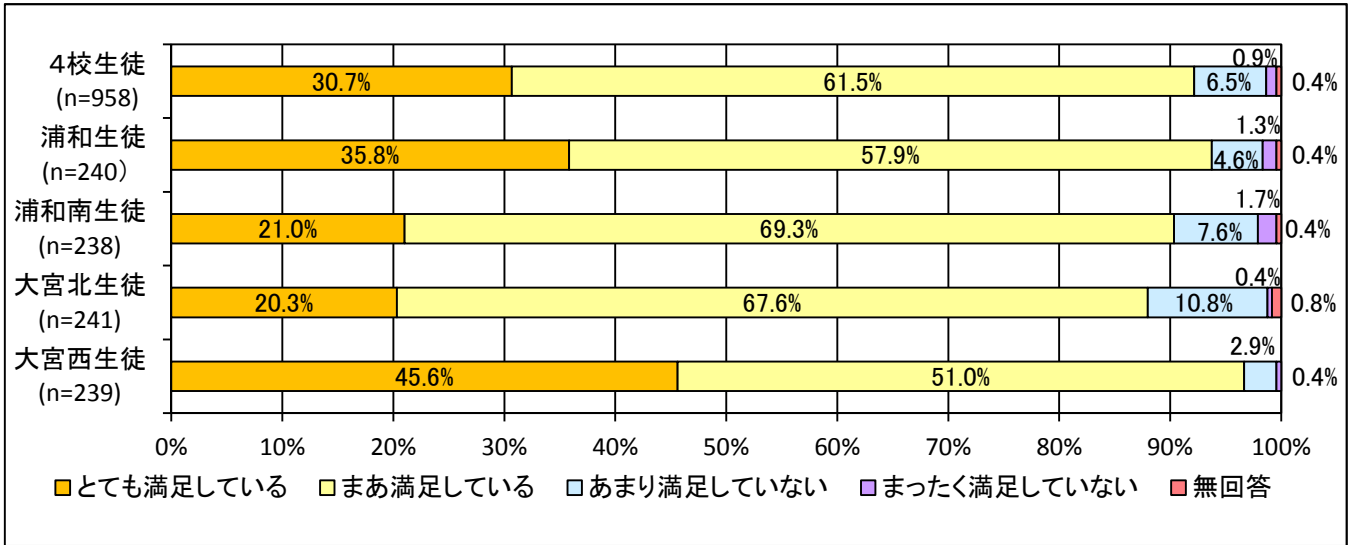
【学校行事（宿泊学習・体育祭など）】



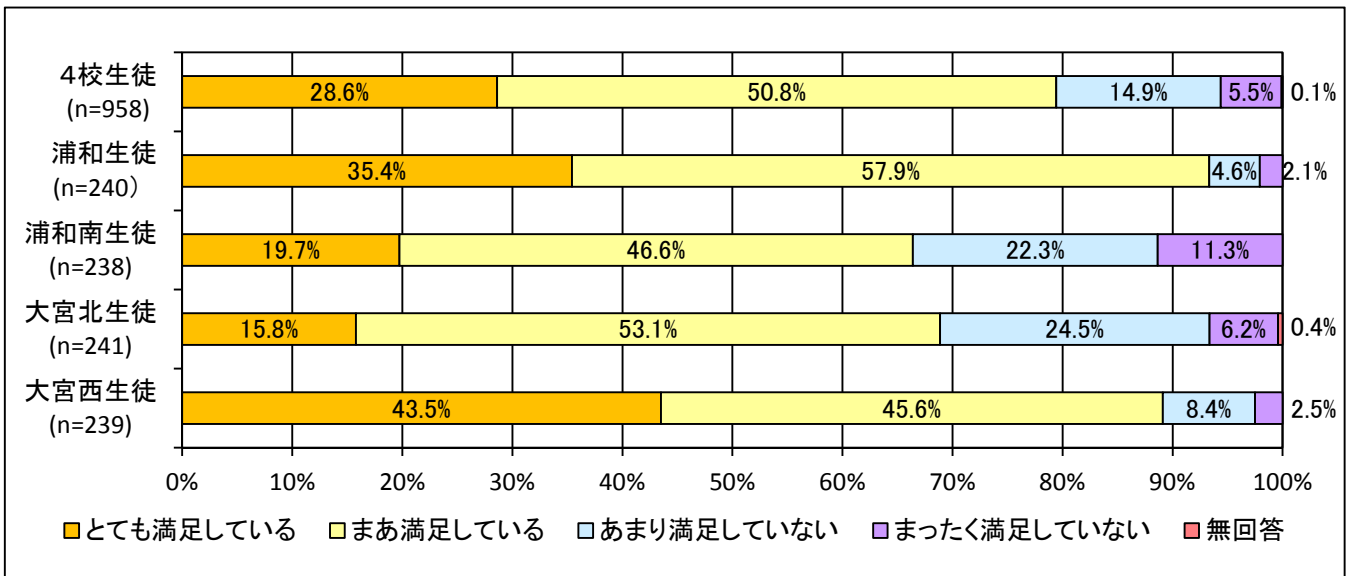
【部活動】



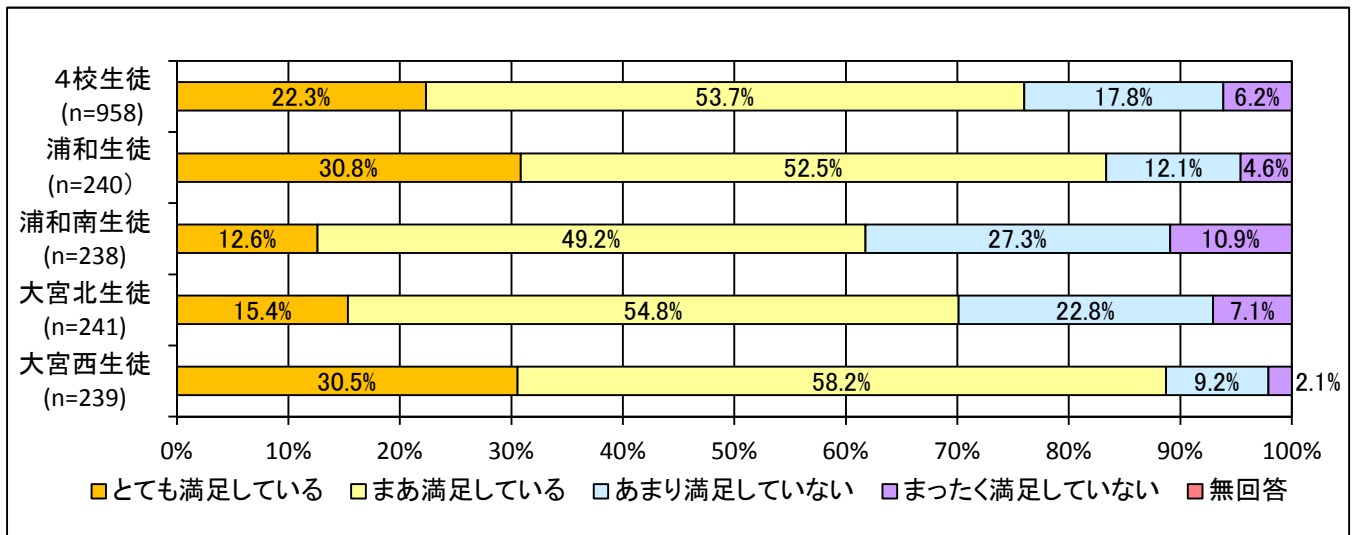
【いじめへの対応や教育相談体制】



【服装・頭髪等に対する指導】



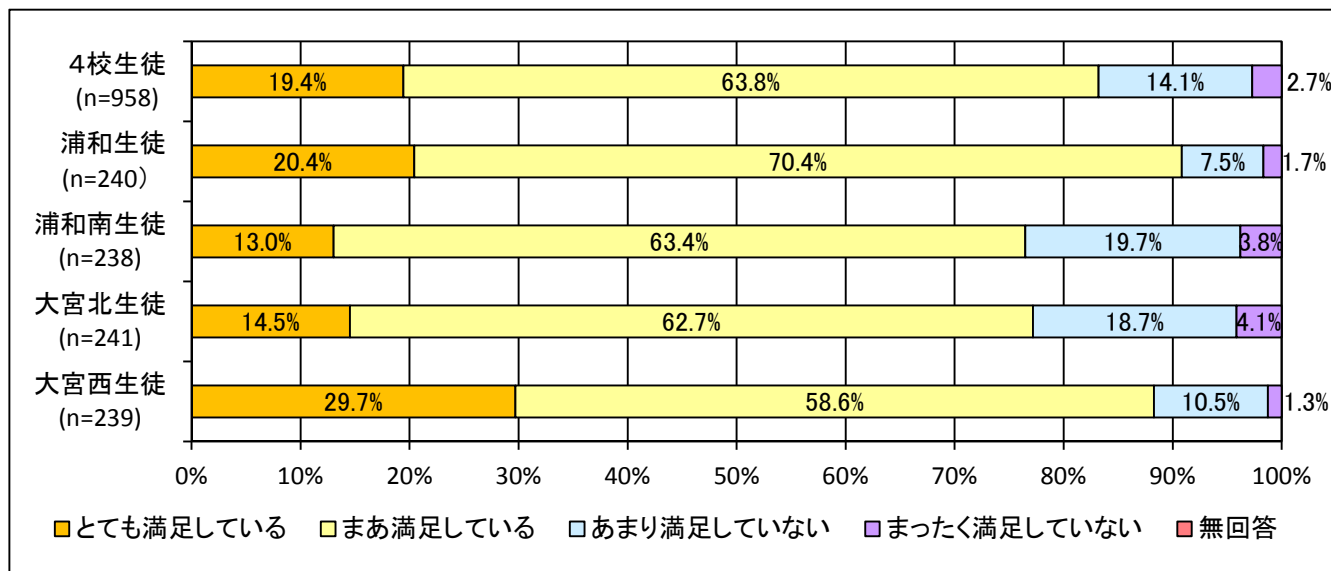
【校舎や教室、設備の使いやすさ】



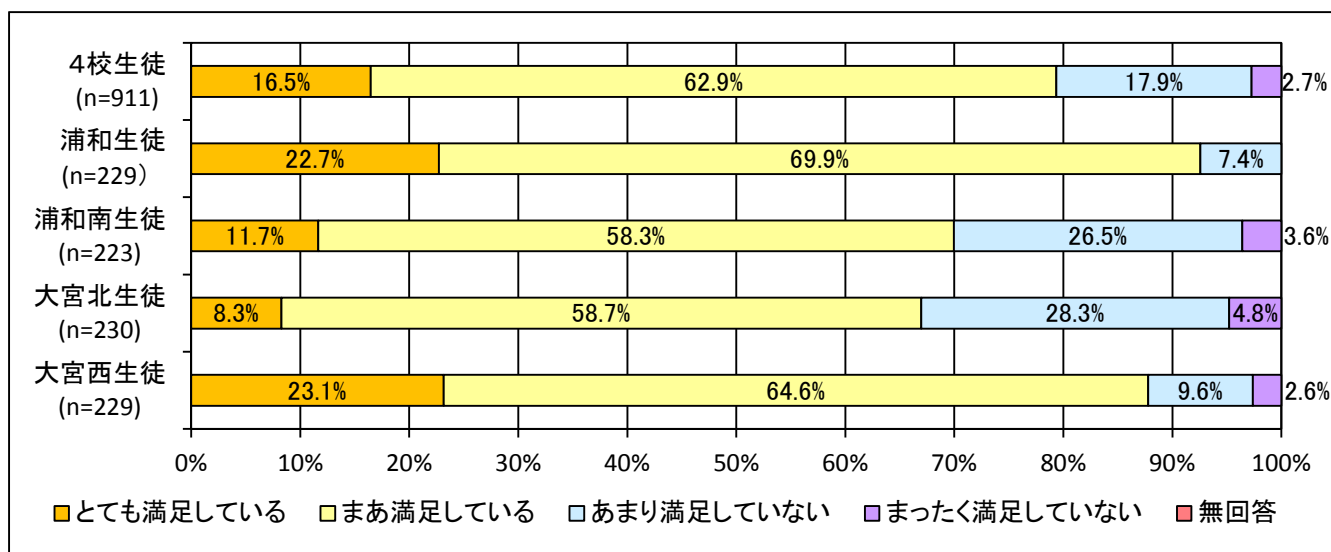
(7) 授業の満足度（生徒）

- 授業の満足度については、「4校生徒」で「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合が83.2%で、前年度比3.8ポイントの増となっている。
- 浦和高校では「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合は前年度比1.8ポイント減となっているものの、90%を超える高い割合となっている。
- 浦和南高校と大宮北高校では「とても満足している」「まあ満足している」と回答した割合が、前年度比でそれぞれ6.4ポイント、10.2ポイントの増となっている。
- 大宮西高校では前年度に比べ、「とても満足している」と回答した割合が6.6ポイント増え、「まあ満足している」と回答した割合と合わせると88.3%で、前年度比0.6ポイントの増となっている。

平成26年度



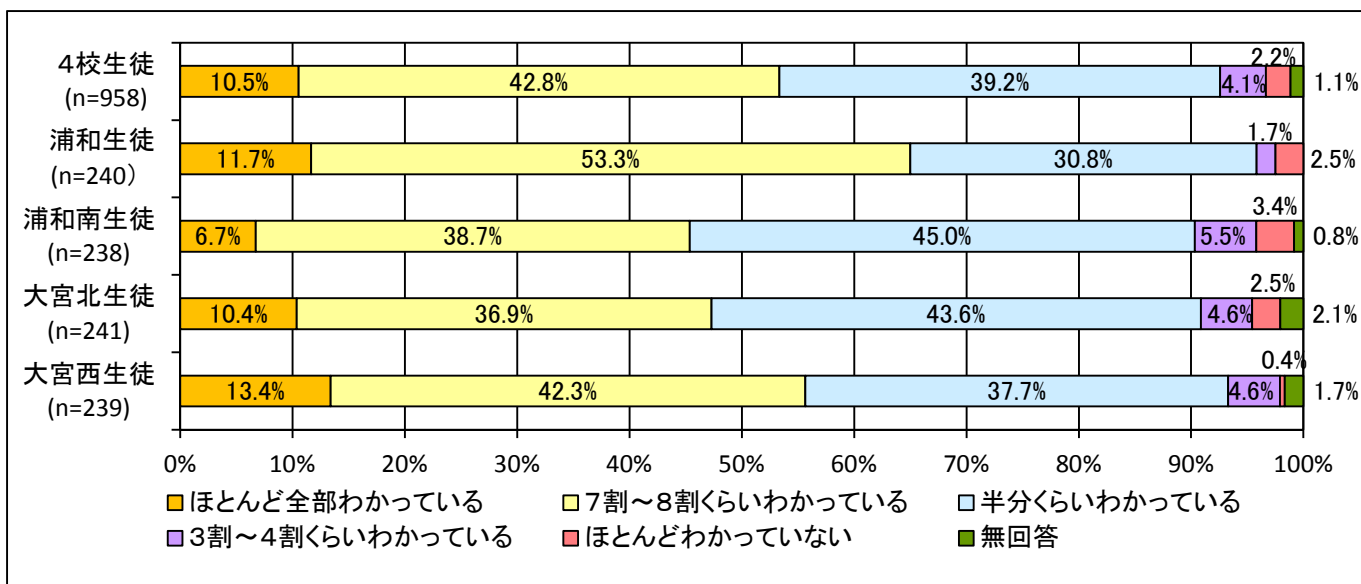
平成25年度（参考）



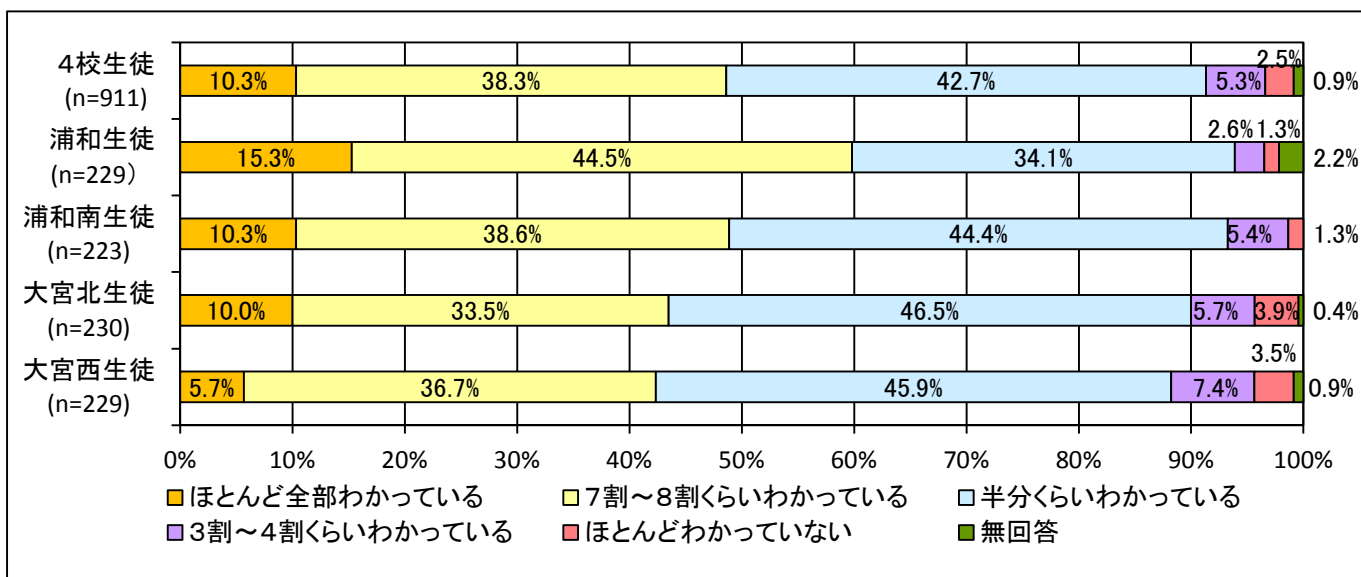
(8) 授業の理解度 (生徒・保護者)

- 「4校生徒」で「ほとんど全部わかっている」と回答した割合は10.5%で、前年度より0.2ポイントの増となったものの、最も高い高校でも13.4%にとどまった。
- 「4校生徒」で「ほとんど全部わかっている」「7割～8割くらいわかっている」と回答した割合は53.3%で、今年度は前年度比4.7ポイントの増となっている。
- 保護者では「ほとんど全部理解している」「7割～8割くらいわかっている」と回答した割合は52.9%で、前年度比1.7ポイントの増となっている。
- 大宮西では生徒、保護者ともに、「ほとんど全部理解している」「7割～8割くらいわかっている」と回答した割合が10ポイント以上の増となった。
- (7) 授業の満足度(11 ページ参照)と比較すると、授業の満足度の上昇と授業の理解度の上昇が必ずしも一致しない学校もある。

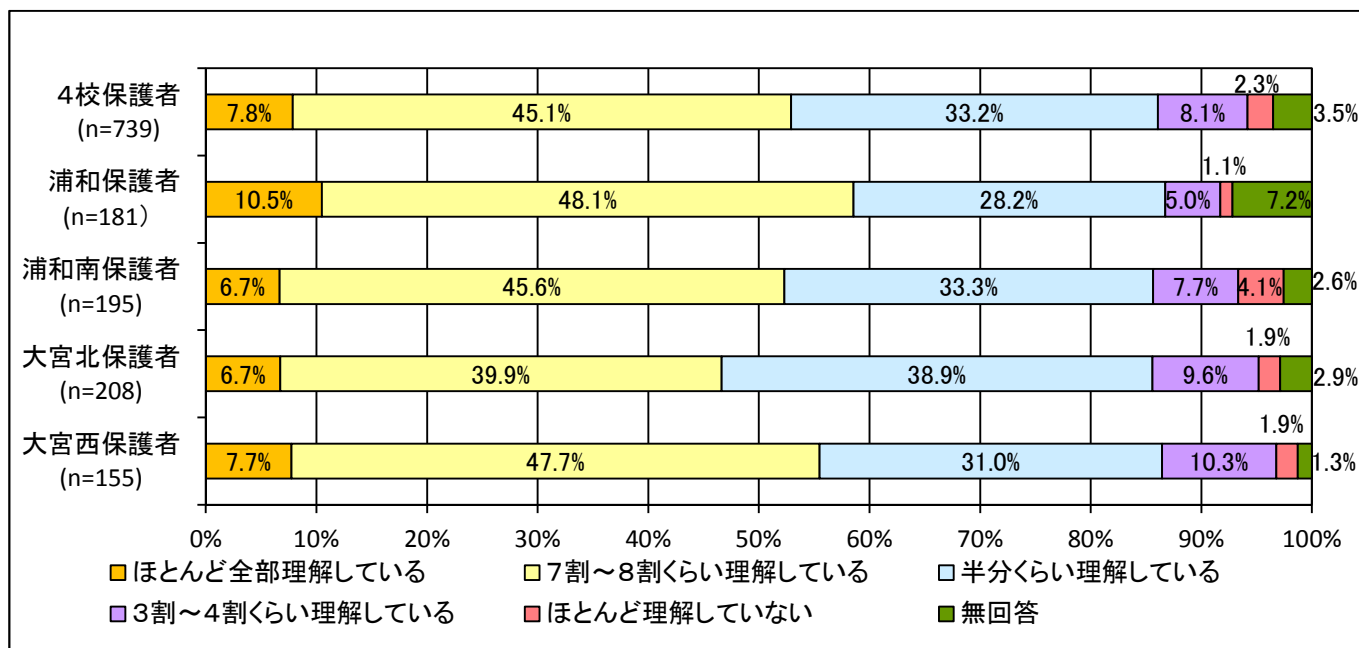
平成26年度 生徒



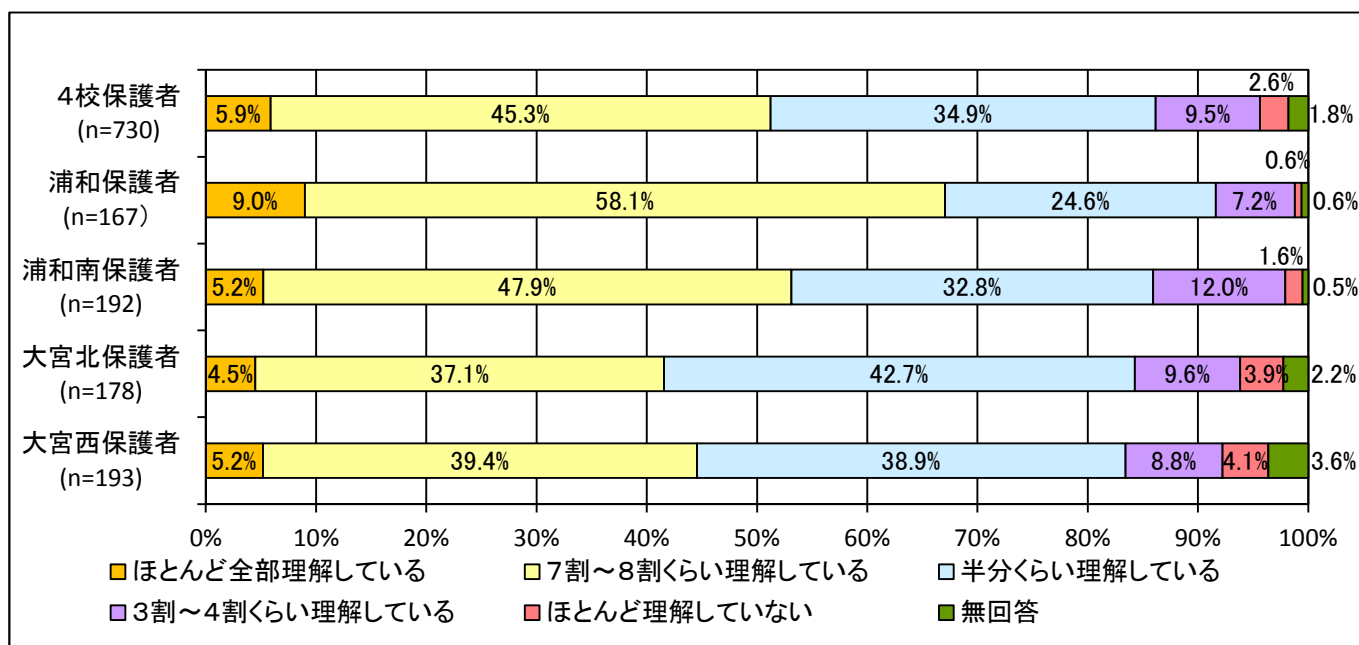
平成25年度 生徒 (参考)



平成26年度 保護者



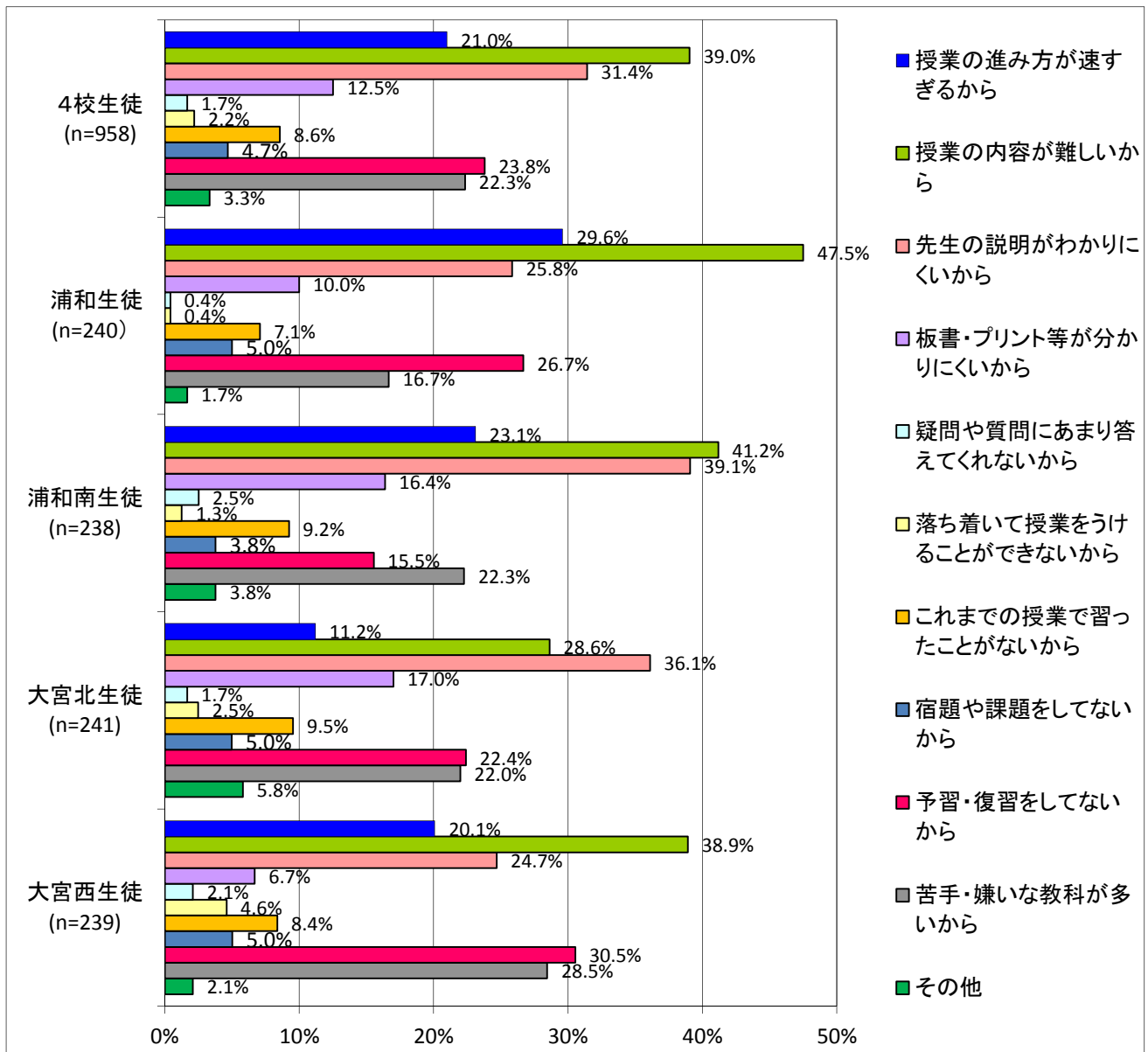
平成25年度 保護者 (参考)



【授業がわからない理由】

- 「4校生徒」で授業がわからない理由として多いものは、「授業の進み方が早すぎるから」「授業の内容が難しいから」「先生の説明がわかりにくいから」「予習・復習をしていないから」「苦手・嫌いな教科が多いから」の5項目である。
- 各高校の「授業がわからない理由」で、最も割合が高いものは「授業の内容が難しいから」「先生の説明がわかりにくいから」で、4校全てで前年度と比べ、「授業の内容が難しいから」と回答した割合が増えている。
- 4校全てで「落ち着いて授業をうけることができないから（授業規律が守られていないから）」との回答があり、授業規律の面で改善すべき課題がある。
- 浦和南、大宮北では前年度に比べ、「予習・復習をしていないから」と回答した割合が10ポイント前後減り、「宿題や課題をしていないから」と回答した割合も減っており、生徒側の課題について改善が見られた。また、4校全てで前年度に比べ、「苦手・嫌いな教科が多いから」と回答した割合が減っている。

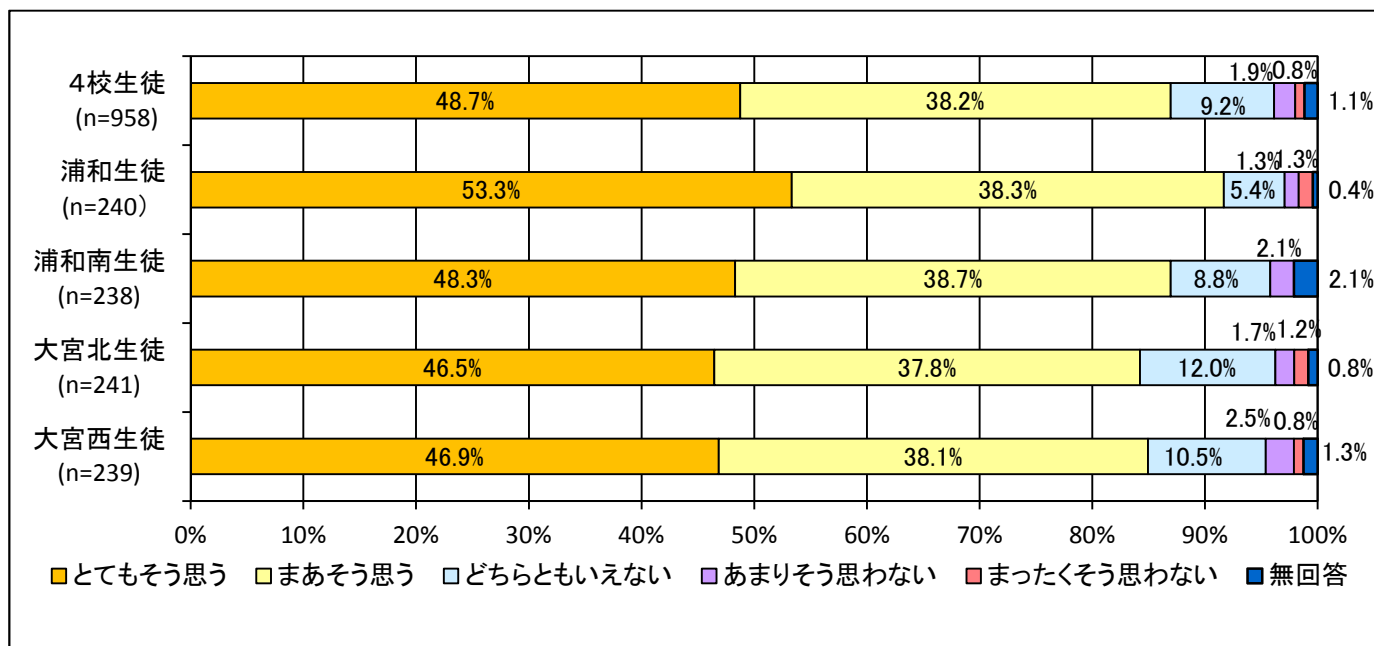
生徒（複数回答・いくつでも）



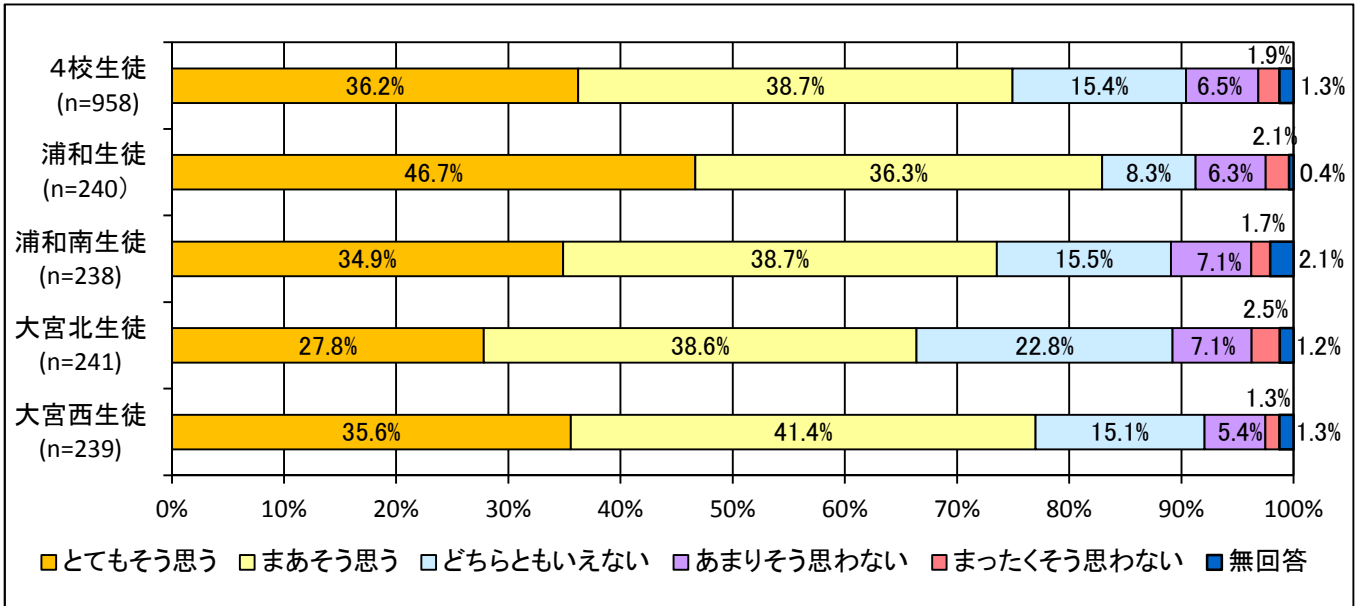
(9) 生徒が望む授業、学習の内容や形態（生徒）

- 4校全てで「学習方法について教えてほしい」「習熟度別授業（理解や習熟の程度に応じた指導）をしてほしい」「勉強する内容（教科）をもっと選べるようにしてほしい」「学校施設や設備の改善、教材や備品等の充実をしてほしい」については、「とても思う」「まあそう思う」と回答した割合が50%を超えている。
- 「基本的・基礎的なことをしっかりと教えてほしい」「進路実現に役立つような授業をしてほしい」に「とても思う」「まあそう思う」と回答した割合が4校全てで75%を超えて高い一方で、「放課後や土曜日、夏休みなどの補習授業を充実してほしい」「1年間の授業の時間を増やしてほしい」など、補習や授業時間が増えることについては、4校全般で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した割合が高い。
- 「生徒1人1台のパソコン（情報端末）を活用した授業を行ってほしい」「地域や平和などについて学ぶ学校独自の選択教科（科目）を設定してほしい」「教員になるためのカリキュラムがあれば受講してみたい」「悩みをもっと気軽に相談できるようカウンセリングや電話相談などを充実してほしい」については、4校全般で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した割合が高い。
- 「ホームルームの人数をもっと少なくしてほしい」については、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は4校とも15%前後、「少人数で行う授業を増やしてほしい」については、4校とも40%前後だが、「習熟度別授業をしてほしい」については4校で70%前後の高い割合になっている。
- 「自分の理解を確認する学習の場面を作してほしい（二人一組で学習内容を説明し合うなど）」については、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合が「4校生徒」では32.1%で、前年度比1.8ポイントの増となっている。平成27年度の市立高校「教えて考えさせる授業」研究指定事業の中でも指標としていきたい。
- 学習指導要領で求めている言語活動の充実に関して、「自分たちで調べたり考えたりしたことを議論したり発表したりする学習をしたい」については、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合が「4校生徒」では21.9%で、前年度比1.4ポイントの増となっている。

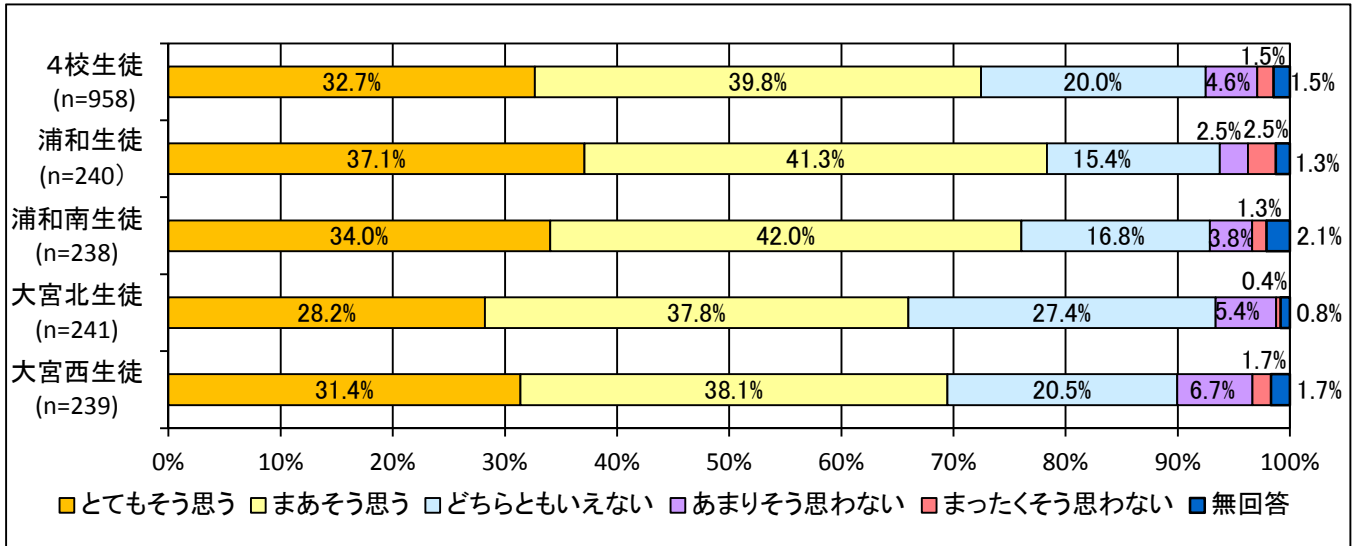
【基本的・基礎的なことをしっかりと教えてほしい】



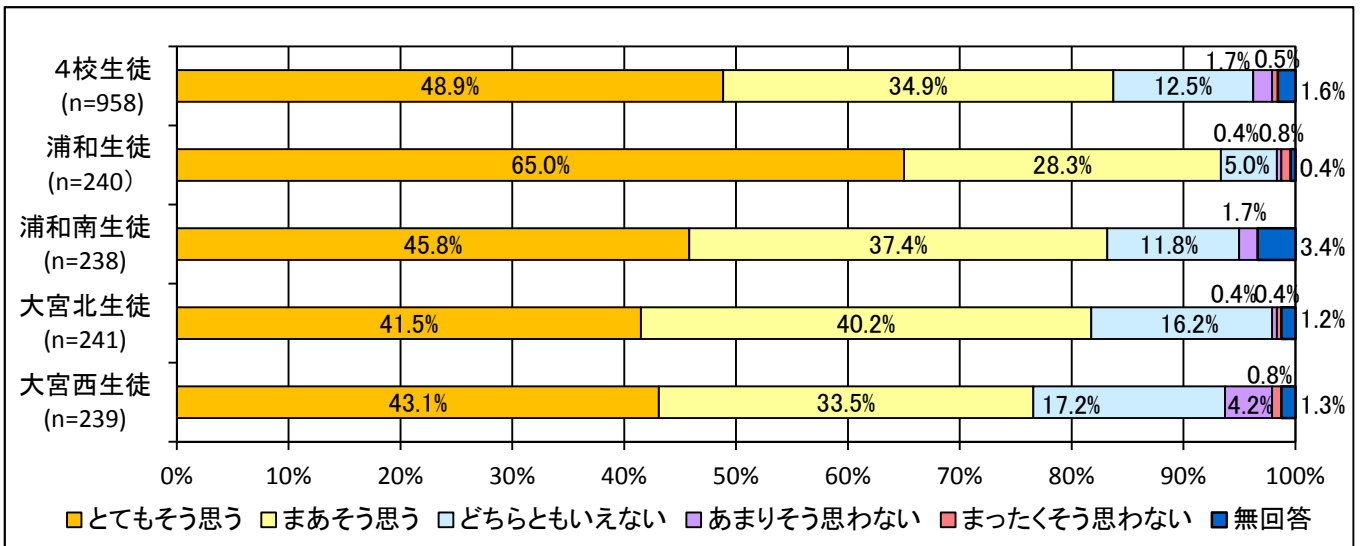
【学習方法について教えてほしい】



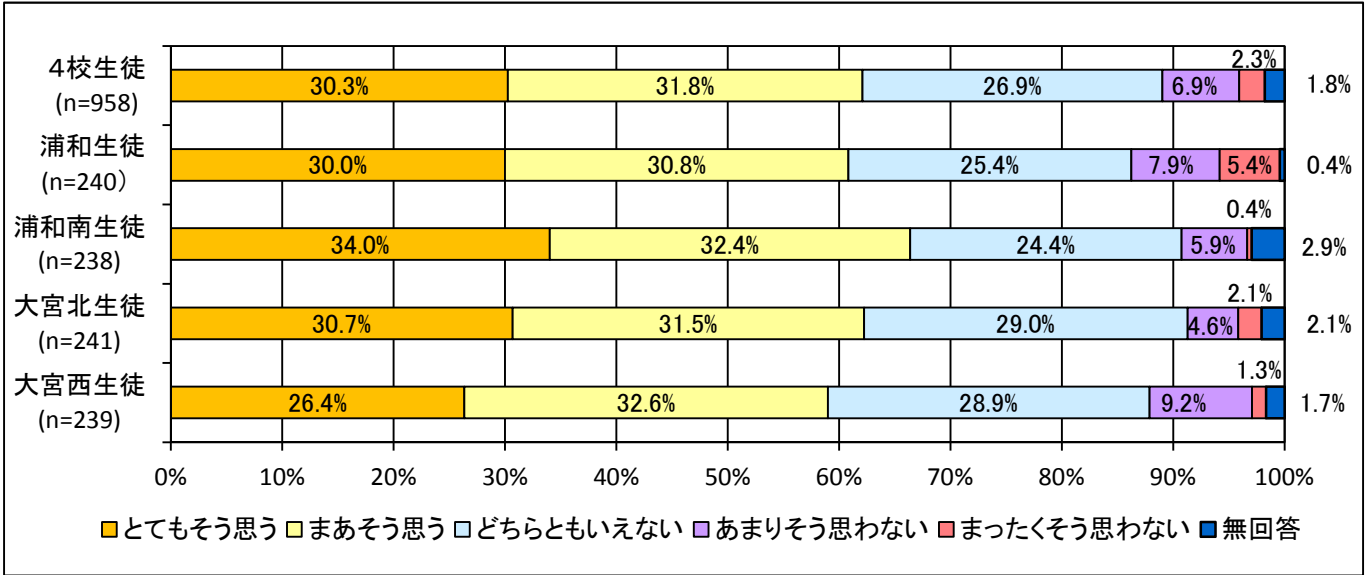
【習熟度別授業（理解や習熟の程度に応じた指導）をしてほしい】



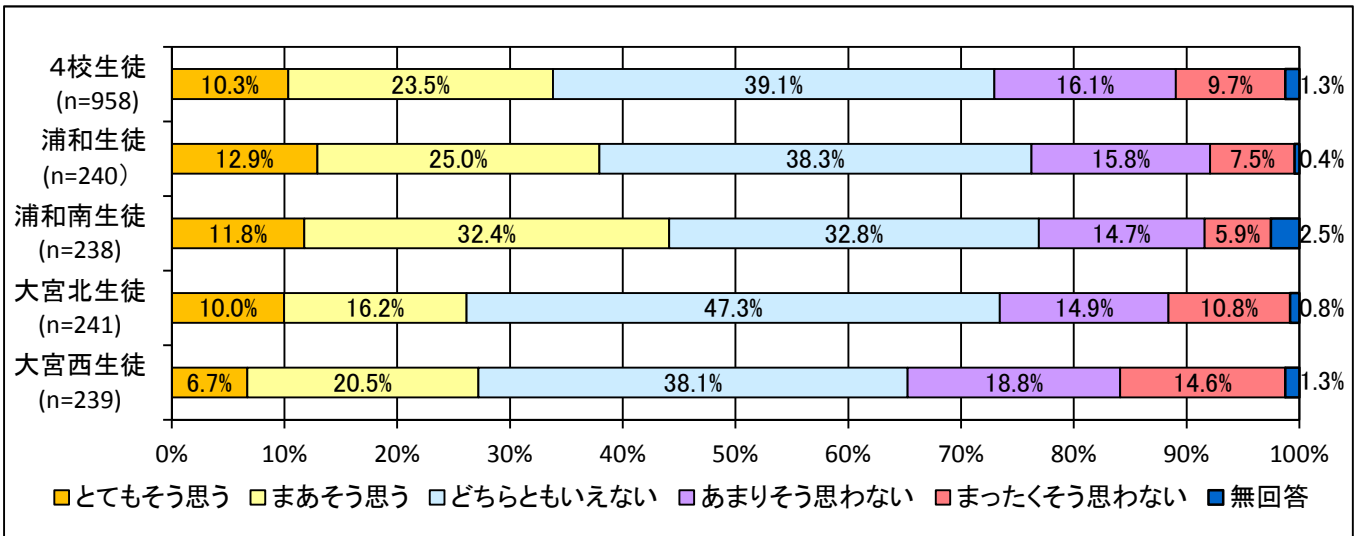
【進路実現に役立つような授業をしてほしい】



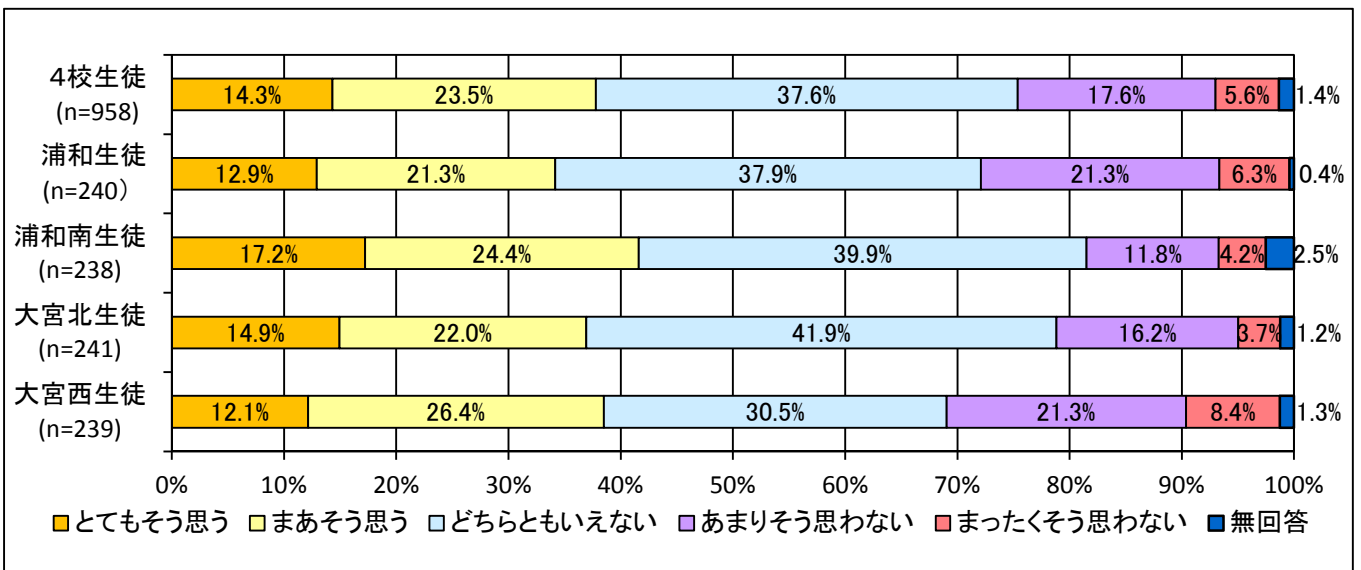
【勉強する内容（教科）をもっと選べるようにしてほしい】



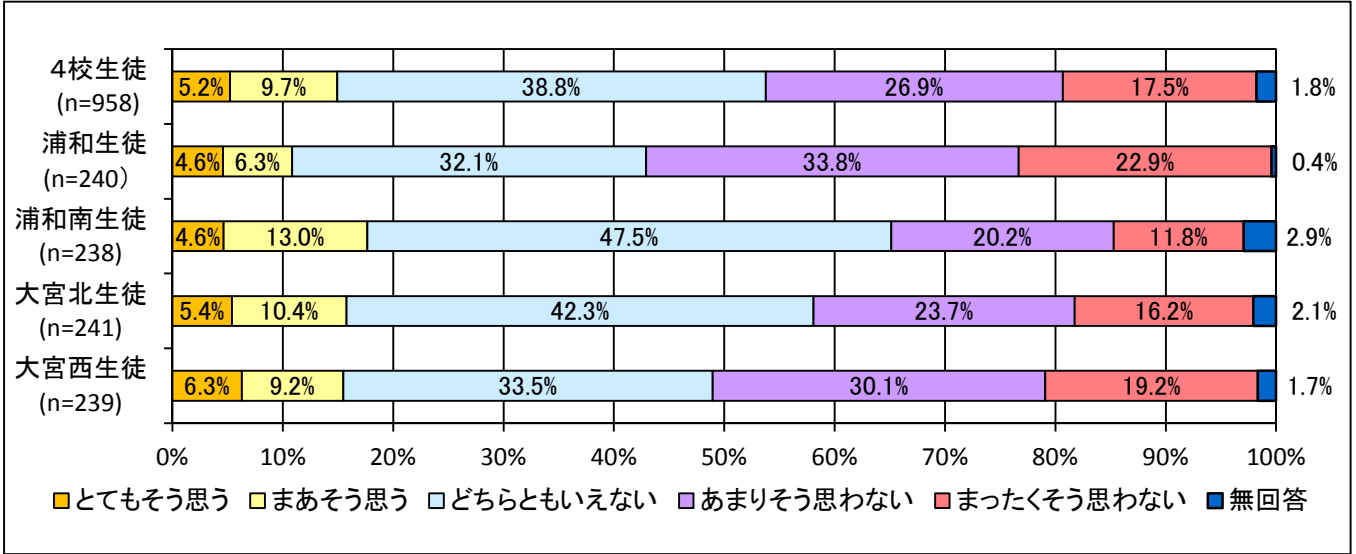
【放課後や土曜日、夏休みなどの補習授業を充実してほしい】



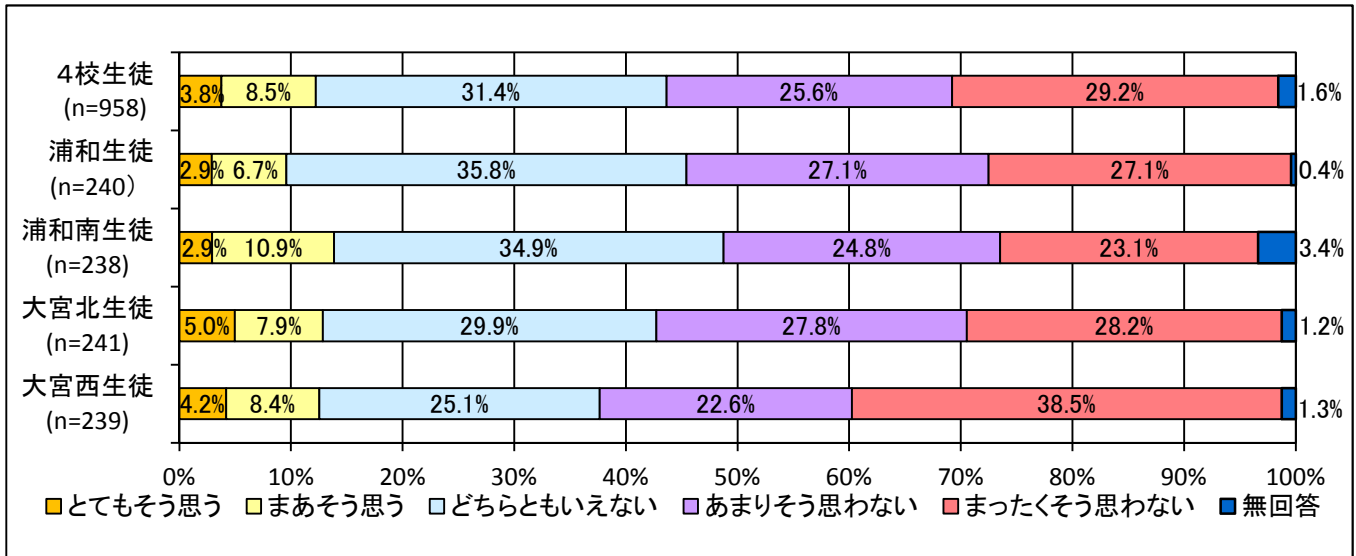
【少人数で行う授業を増やしてほしい】



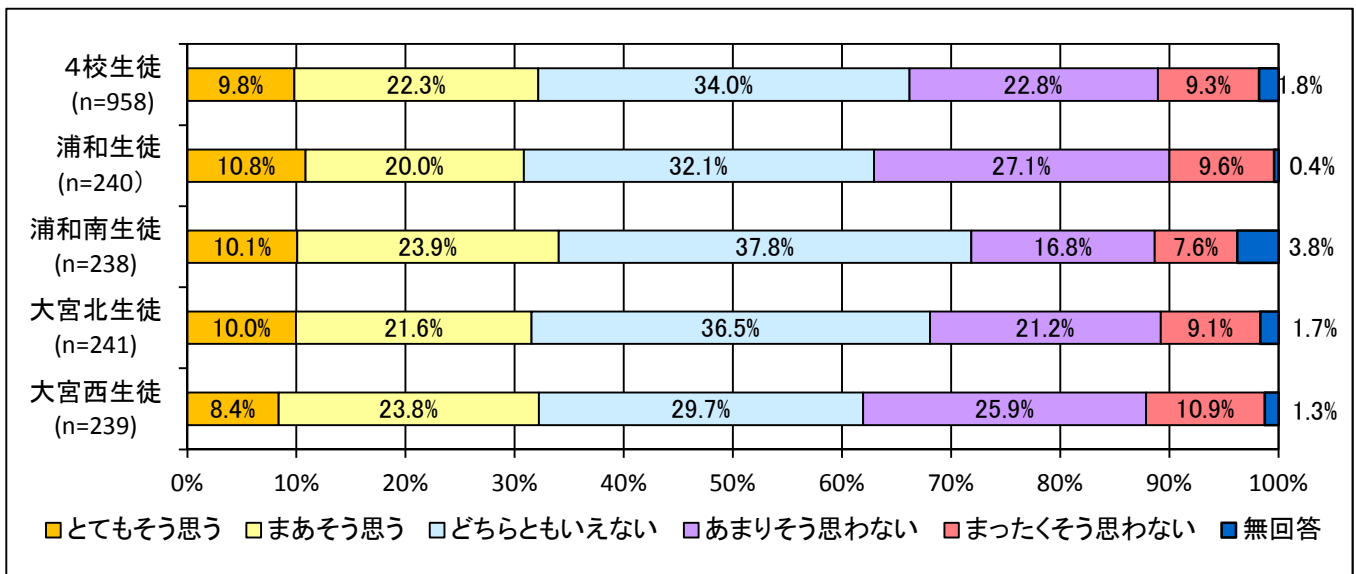
【ホームルームの人数をもっと少なくしてほしい】



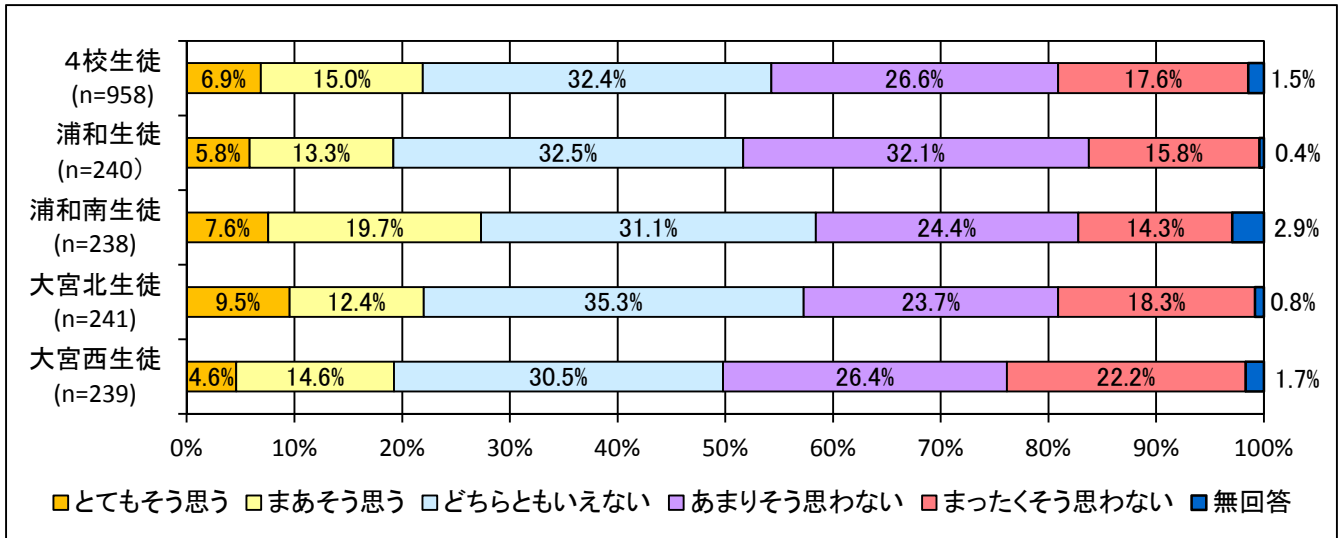
【1年間の授業の時間を増やしてほしい】



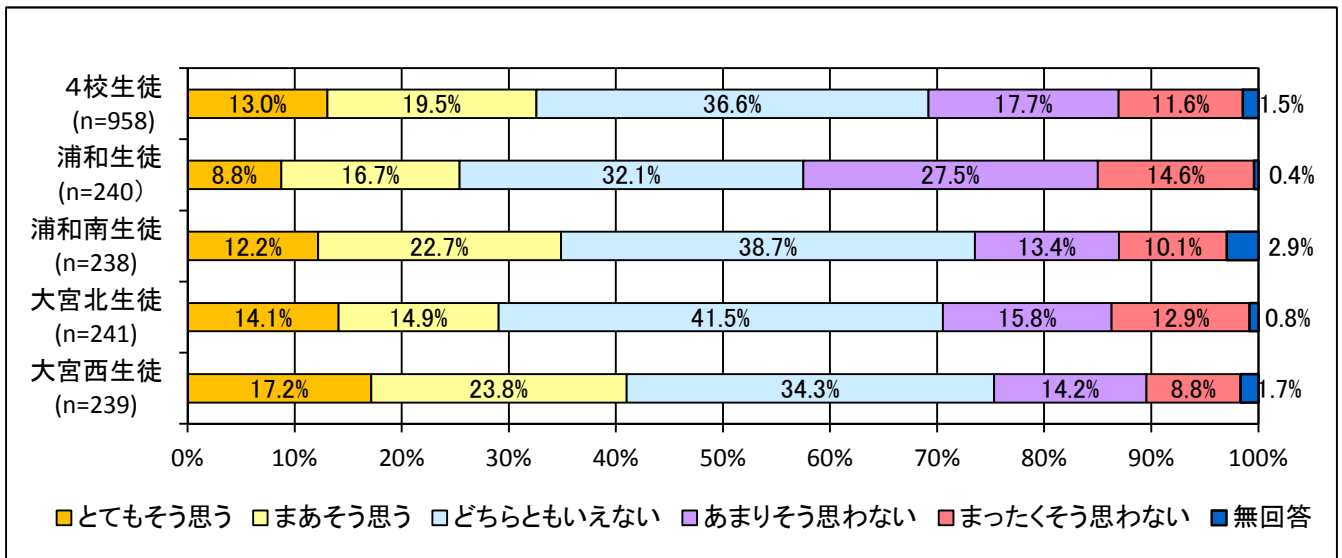
【自分の理解を確認する学習の場面を作ってほしい（二人一組で学習内容を説明し合うなど）】



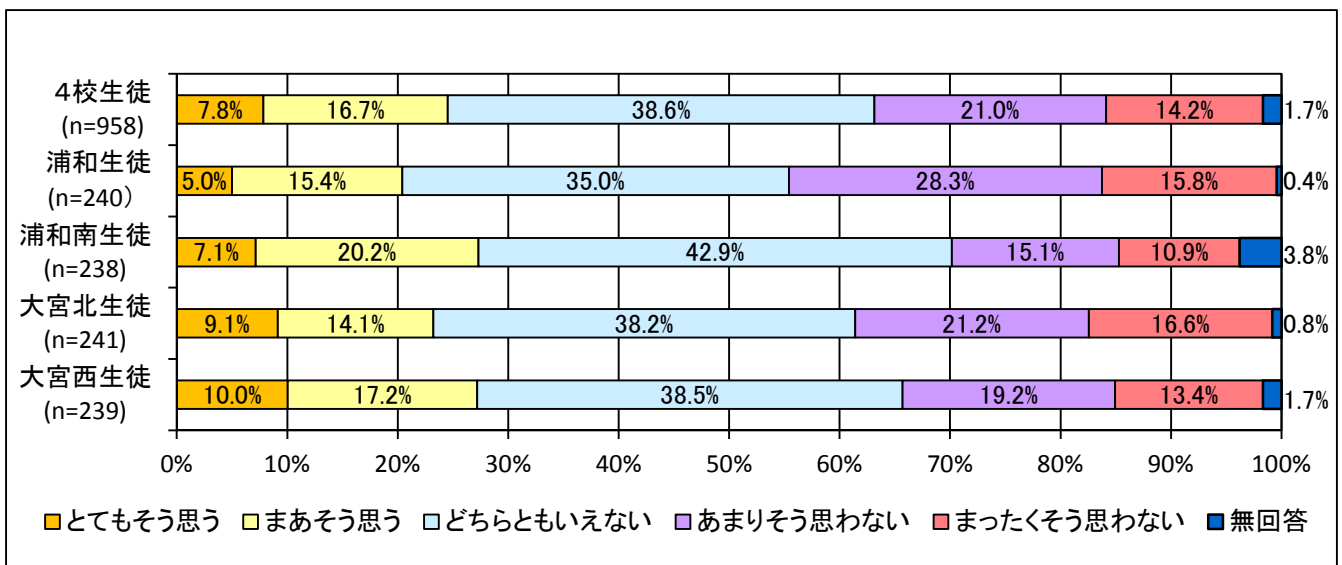
【自分たちで調べたり考えたりしたことを議論したり発表したりする学習をしたい】



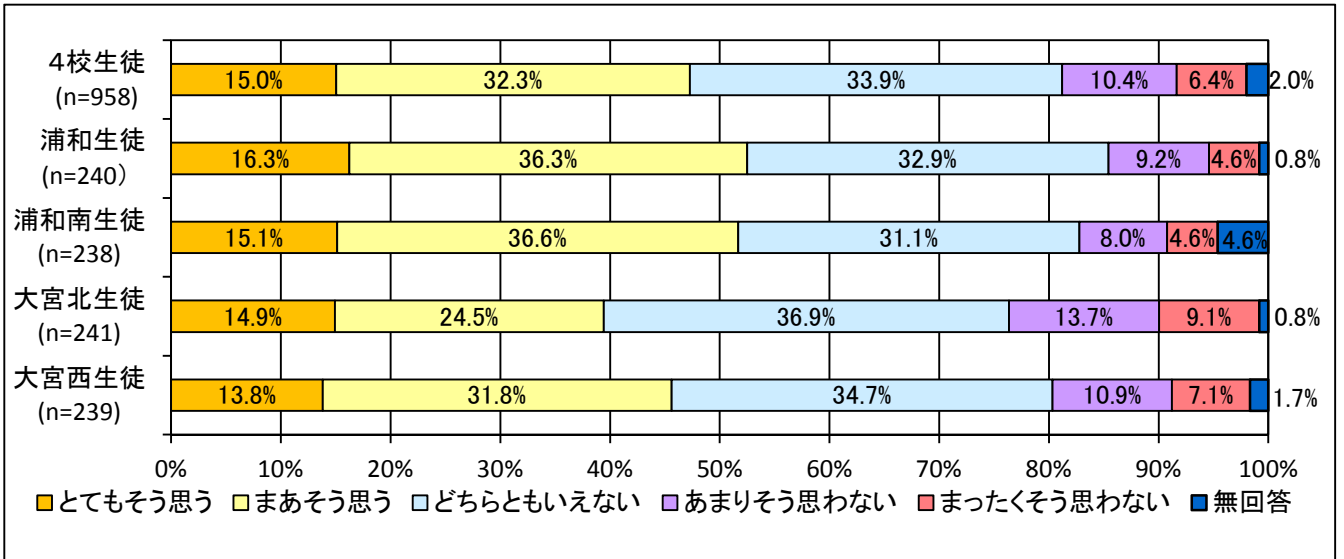
【生徒1人1台のパソコン（情報端末）を活用した授業を行ってほしい】



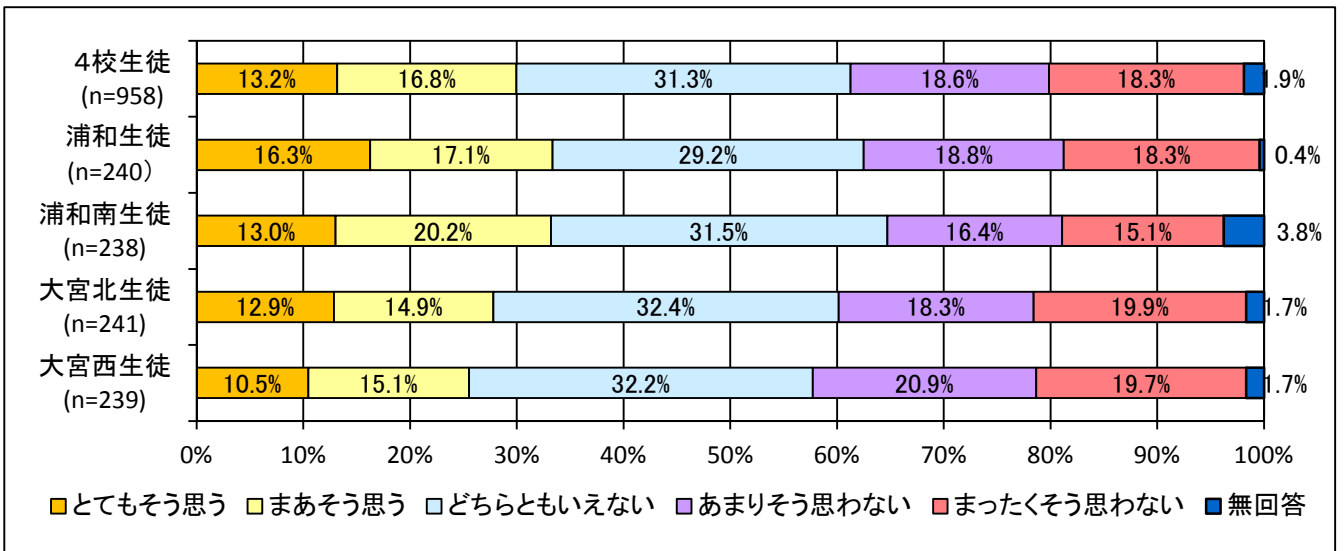
【地域や平和などについて学ぶ学校独自の選択教科（科目）を設定してほしい】



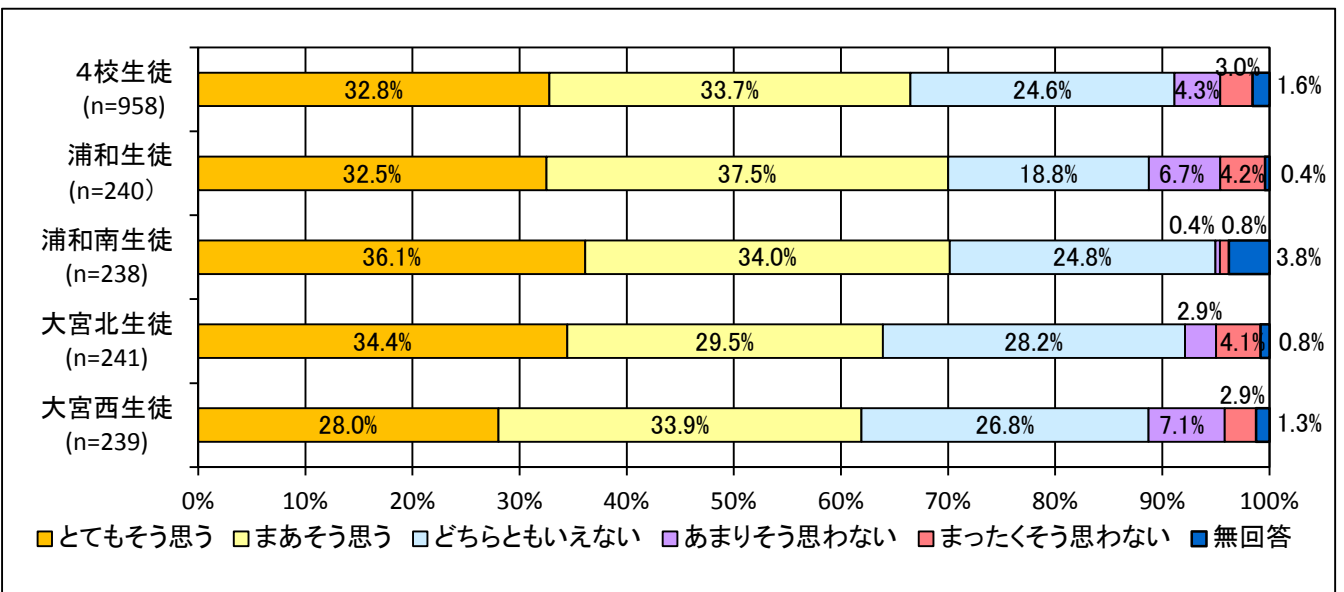
【大学と連携した講座やカリキュラムを充実してほしい】



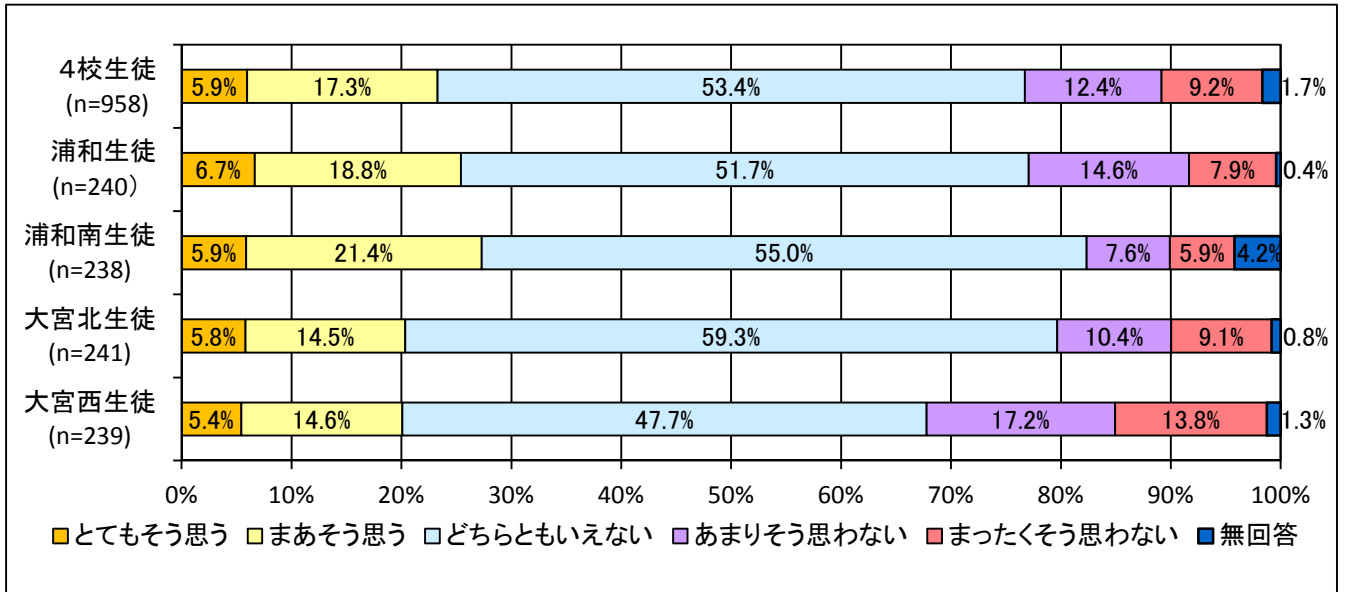
【教員になるためのカリキュラムがあれば受講してみたい】



【学校施設や設備の改善、教材や備品等の充実をしてほしい】



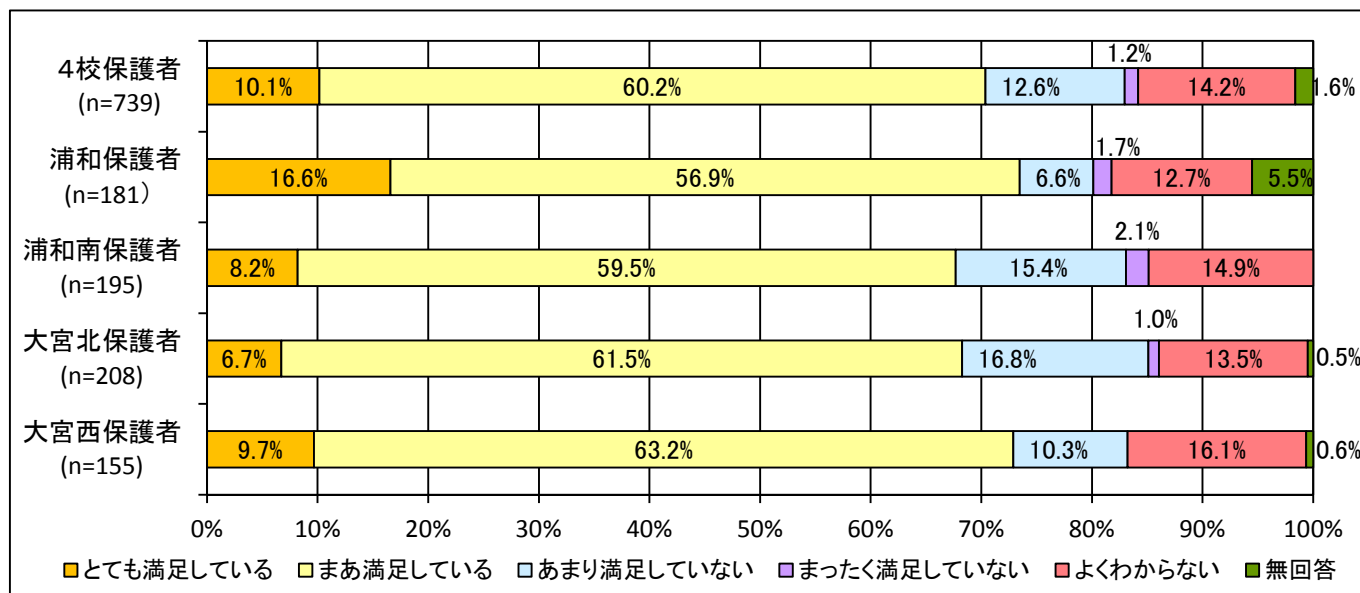
【悩みをもっと気軽に相談できるようカウンセリングや電話相談などを充実してほしい】



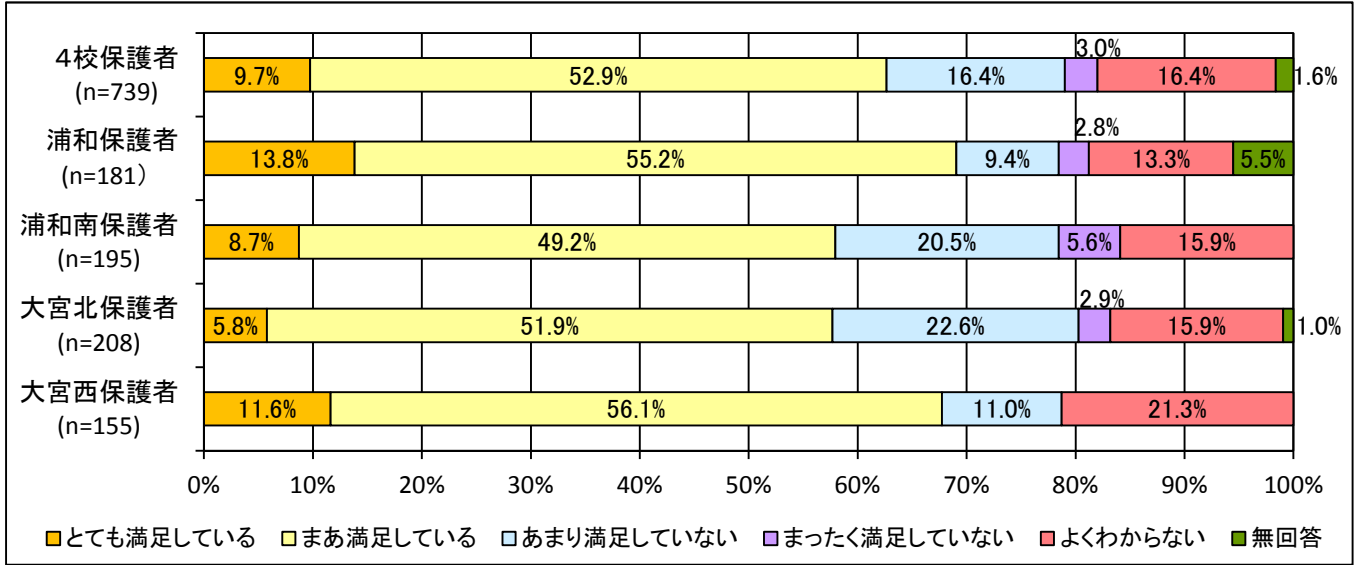
(10) 学校の取組に対する保護者の満足度（保護者）

- 特別活動の「学校行事（文化祭・体育祭・修学旅行など）」については、「とても満足している」「まあ満足している」と回答している割合が4校とも90%前後、「部活動」については、4校とも80%前後と高くなっており、「よくわからない」や「無回答」の割合は低い。
- 「進路実現に役立つ学習指導」「一人ひとりの学力や興味に応じた指導」「学ぶ意欲を高める取組」「キャリア教育（将来の進路や職業についての指導）」の学習指導や進路指導に関する項目については、4校全般で、「まあ満足している」と回答した割合が多いものの、「あまり満足していない」や「よくわからない」と回答する割合も高い。高校によっては、前年度比で10ポイント前後の増減がある項目もあるが、各校による違いが小さくなる傾向にある。
- 「服装・頭髪等に対する指導」については、「とても満足している」「まあ満足している」と回答している割合が4校全てで前年度以上となり、「4校保護者」では75.5%で、前年度比4.9ポイントの増となっている。10ポイント以上増えている学校もある。
- 「パソコンやインターネット等を用いた指導」「心の教育（道徳や体験活動など）」「いじめや不登校問題への対応や教育相談体制」については、4校全般で他の項目より「よくわからない」と回答している割合が高い。
- 「パソコンやインターネット等を用いた指導」「教職員の使命感や教育熱心さ」「施設・設備の充実に向けた取組」「学校・学級だより、ホームページなどを通じて学校の情報を保護者に伝えること」については、各校による差が大きい。

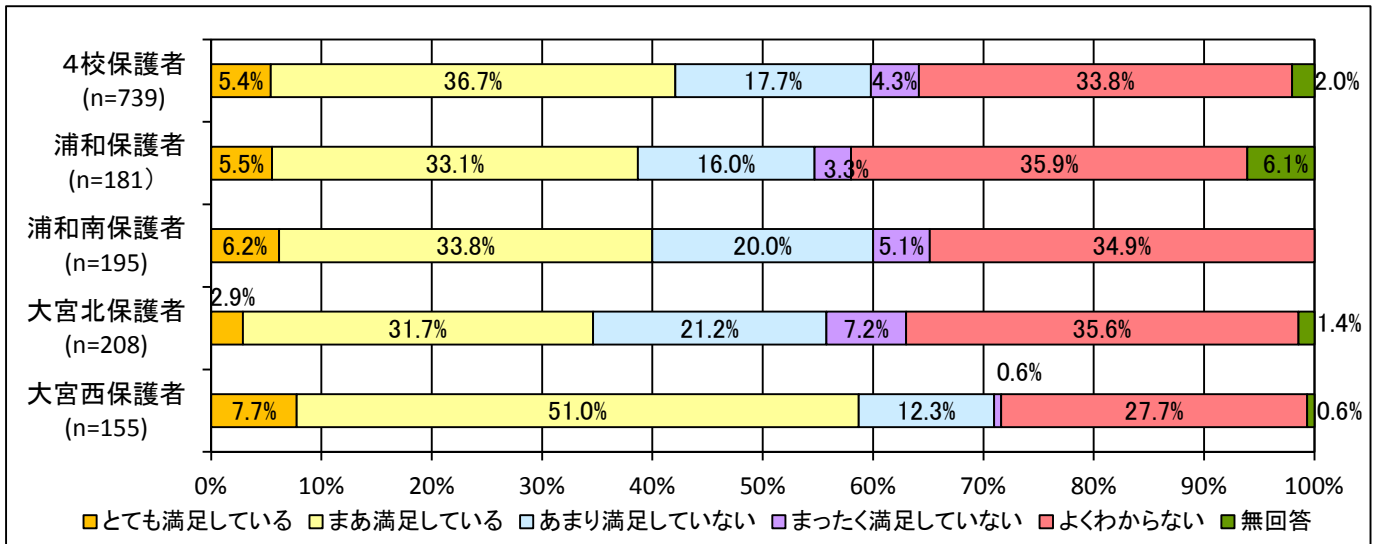
【教科等の基礎的な学習指導】



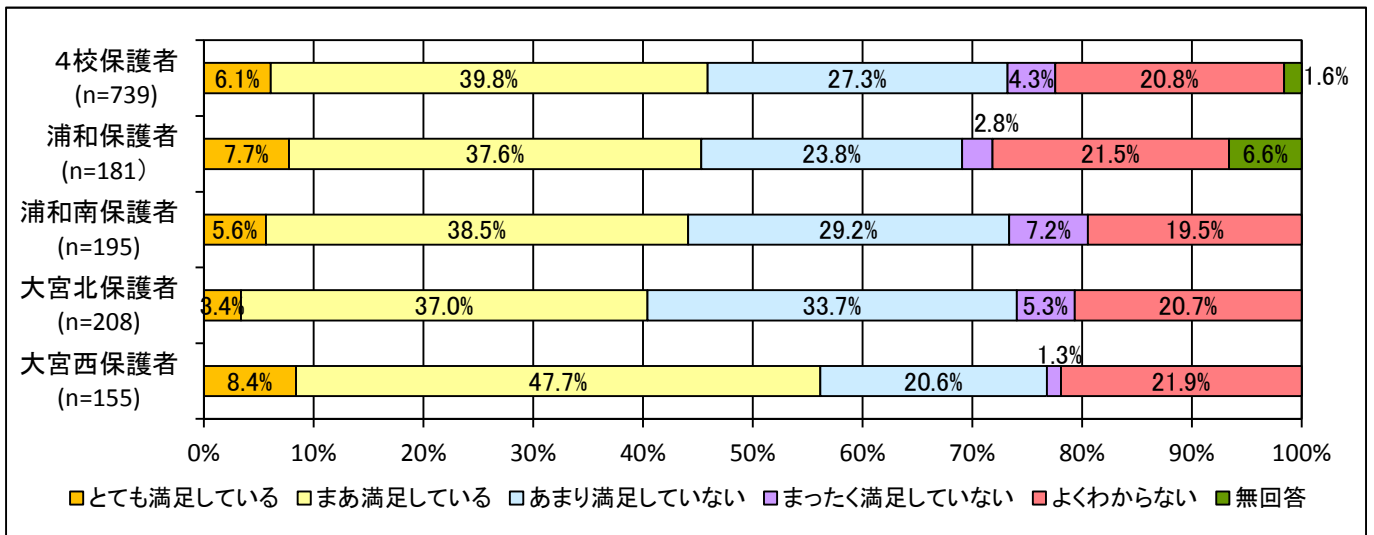
【進路実現に役立つ学習指導】



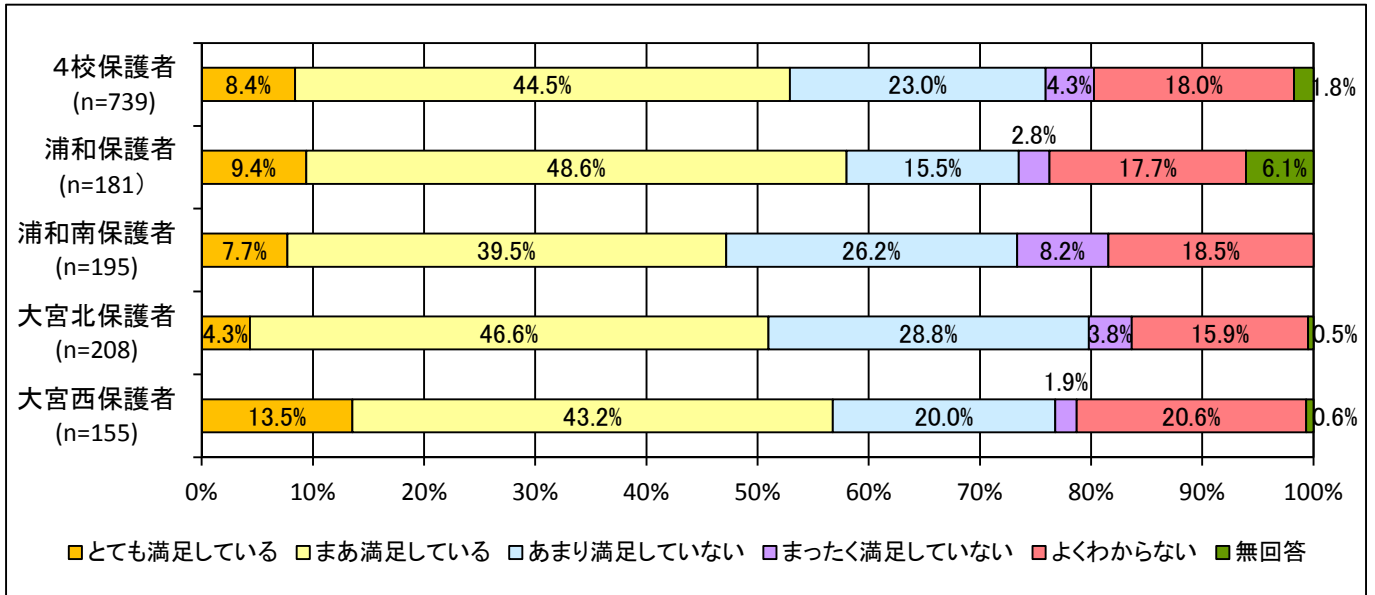
【パソコンやインターネット等を用いた指導】



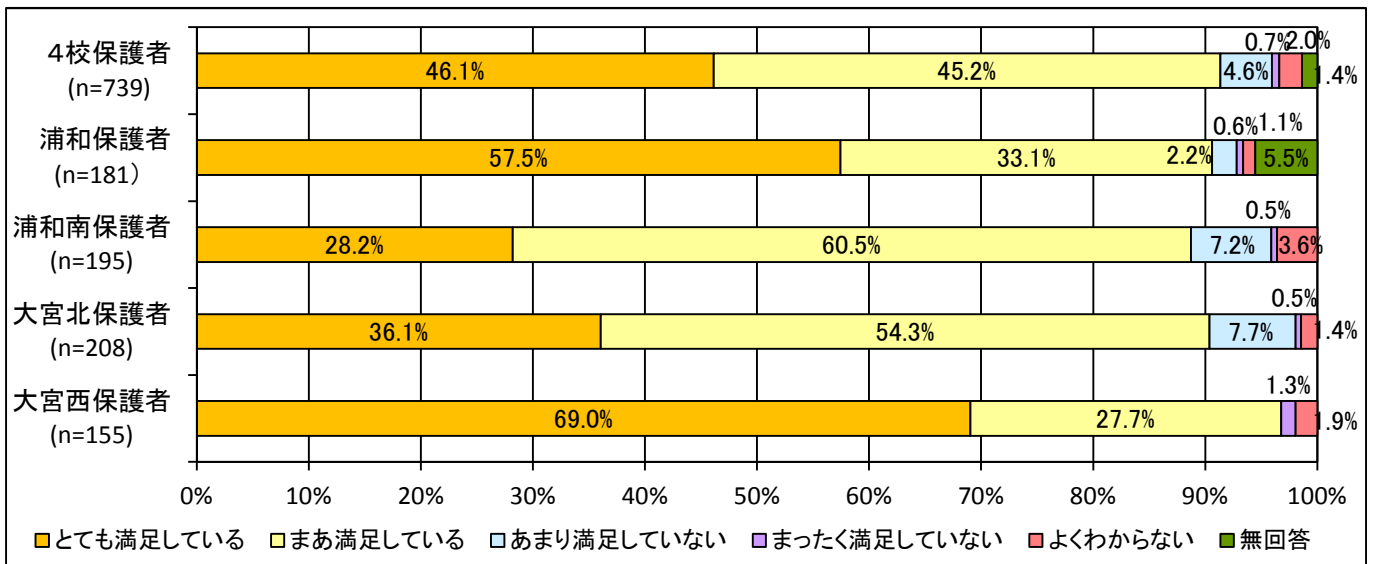
【一人ひとりの学力や興味に応じた指導】



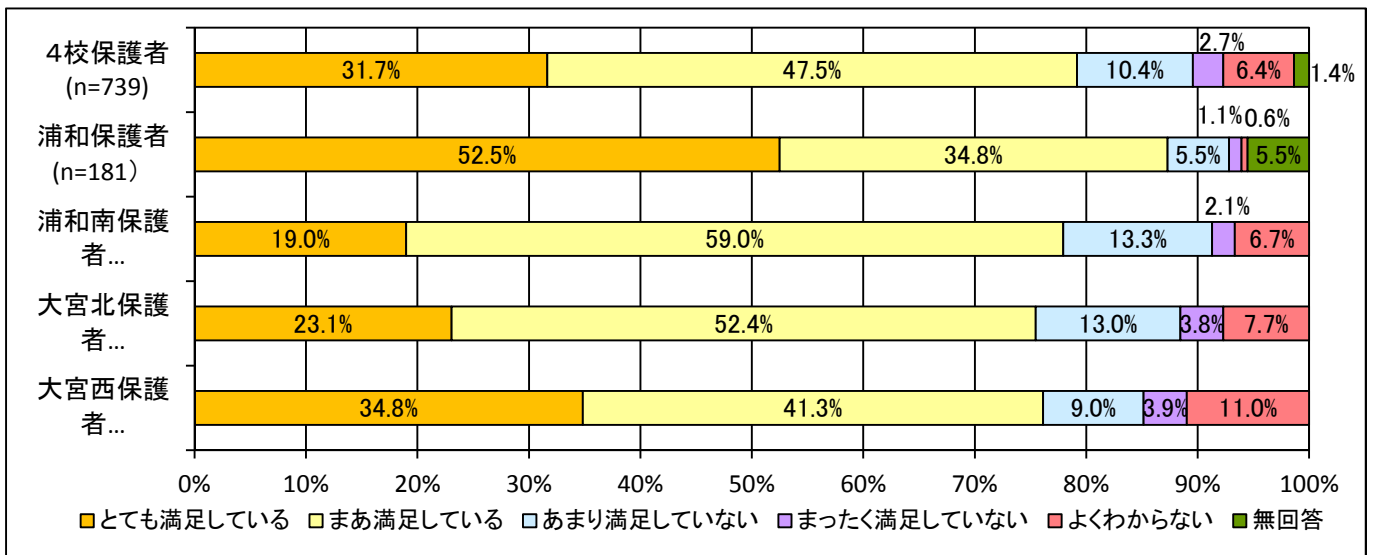
【学ぶ意欲を高める取組】



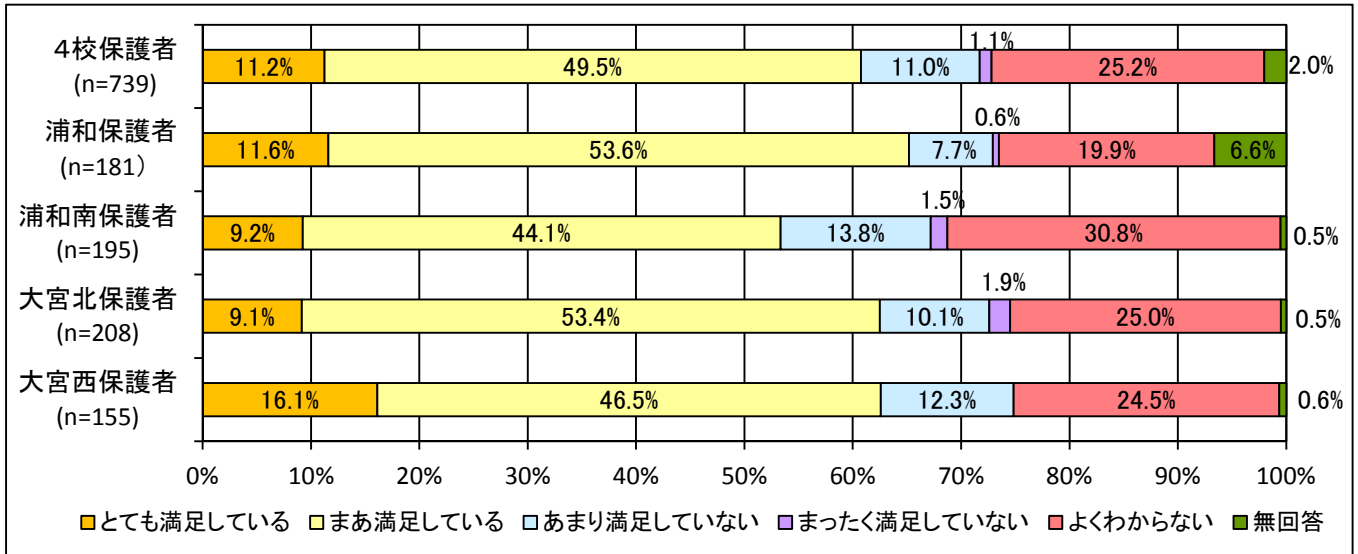
【学校行事（文化祭・体育祭・修学旅行など）】



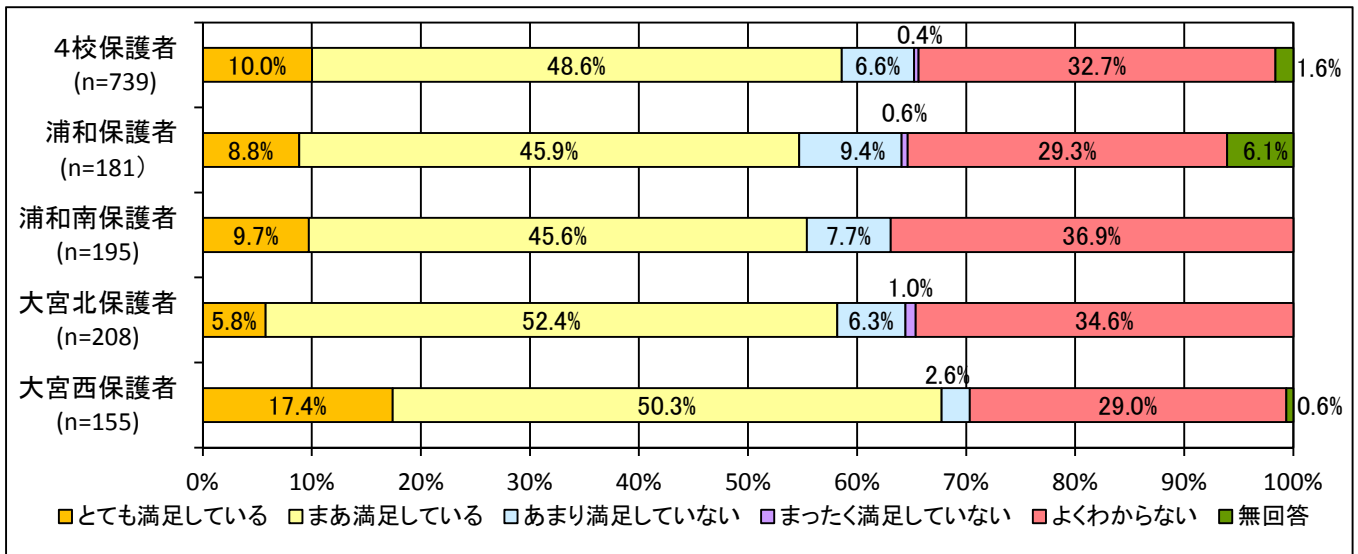
【部活動】



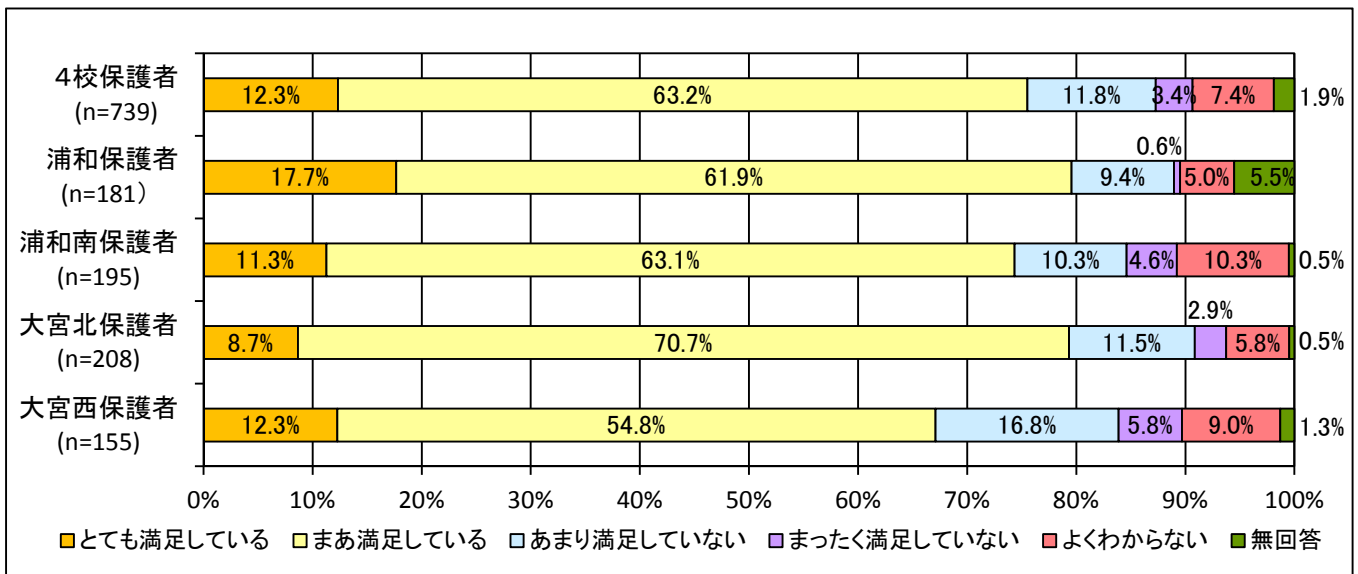
【心の教育（道徳や体験活動など）】



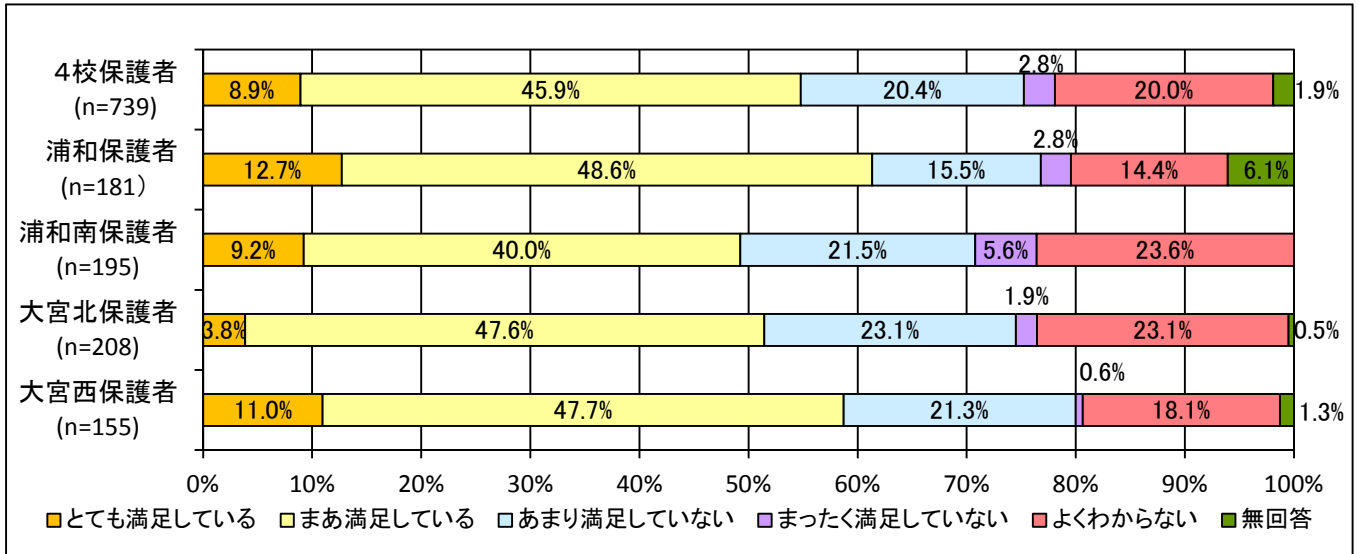
【いじめや不登校問題への対応や教育相談体制】



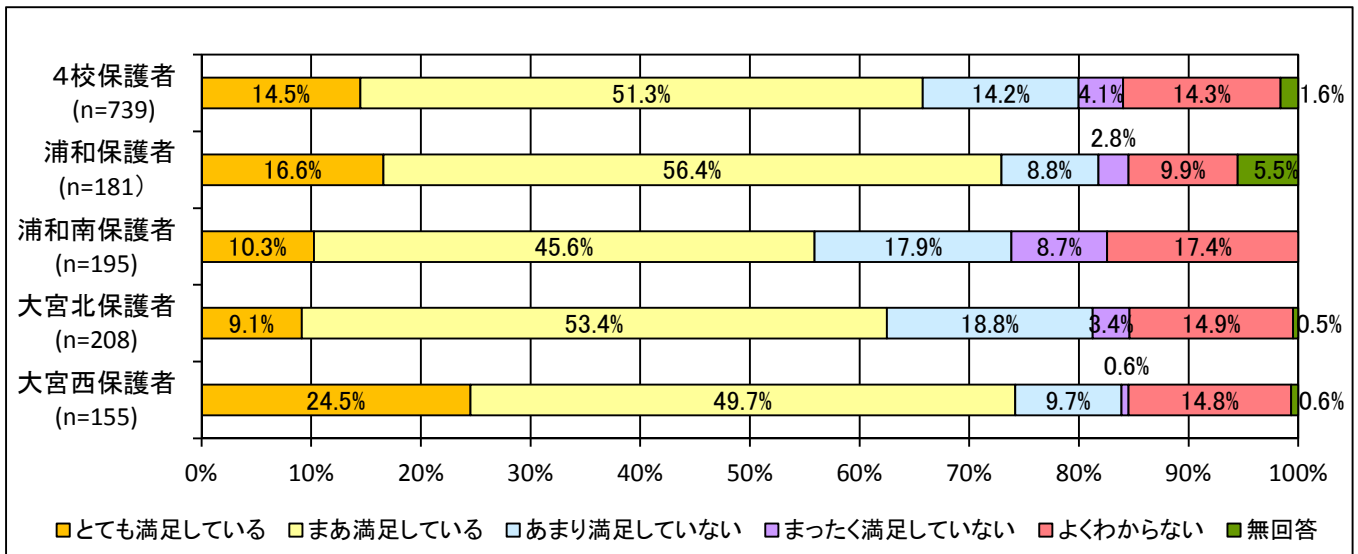
【服装・頭髪等に対する指導】



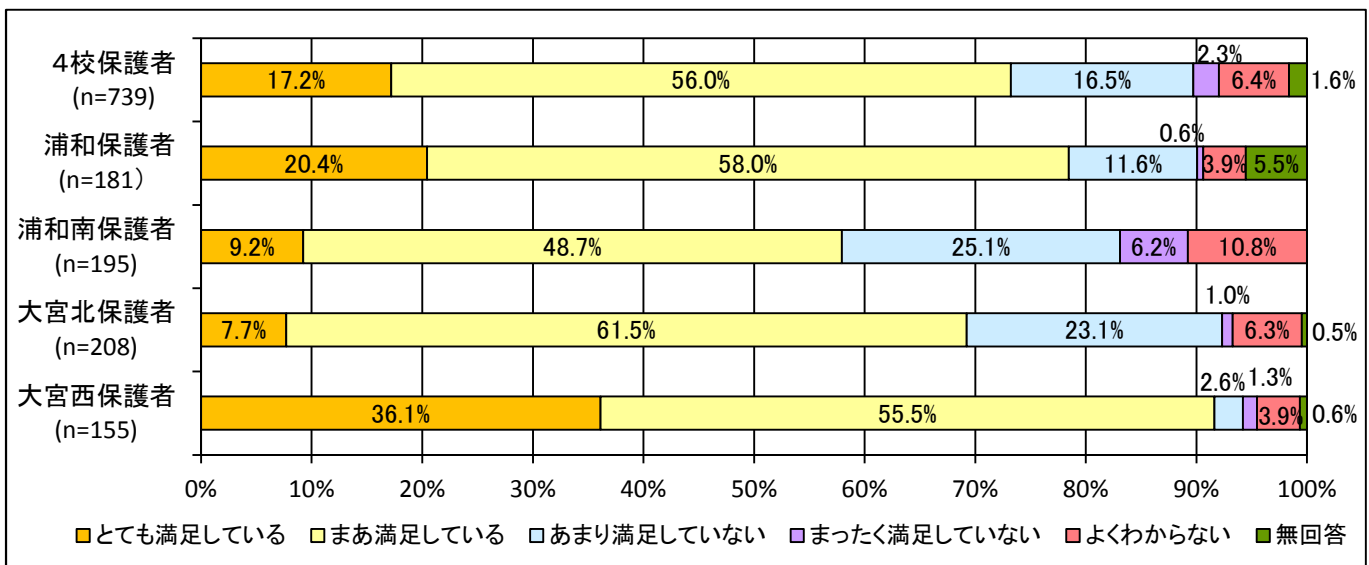
【キャリア教育（将来の進路や職業についての指導）】



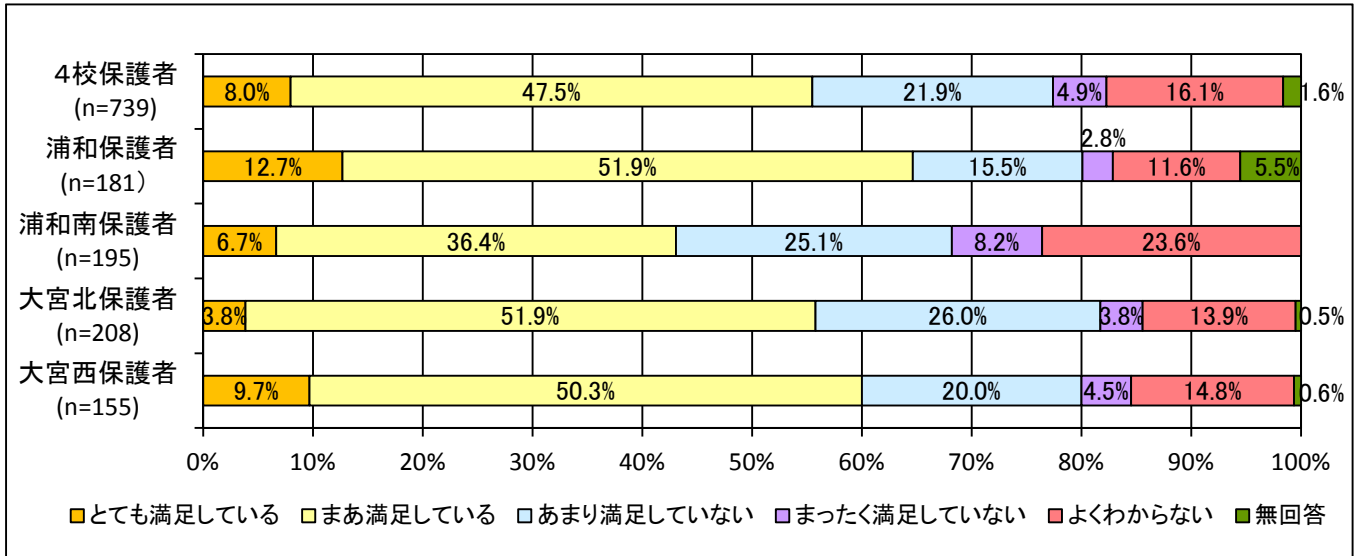
【教職員の使命感や教育熱心さ】



【学校・学級だより、ホームページなどを通じて学校の情報を保護者に伝える取組】



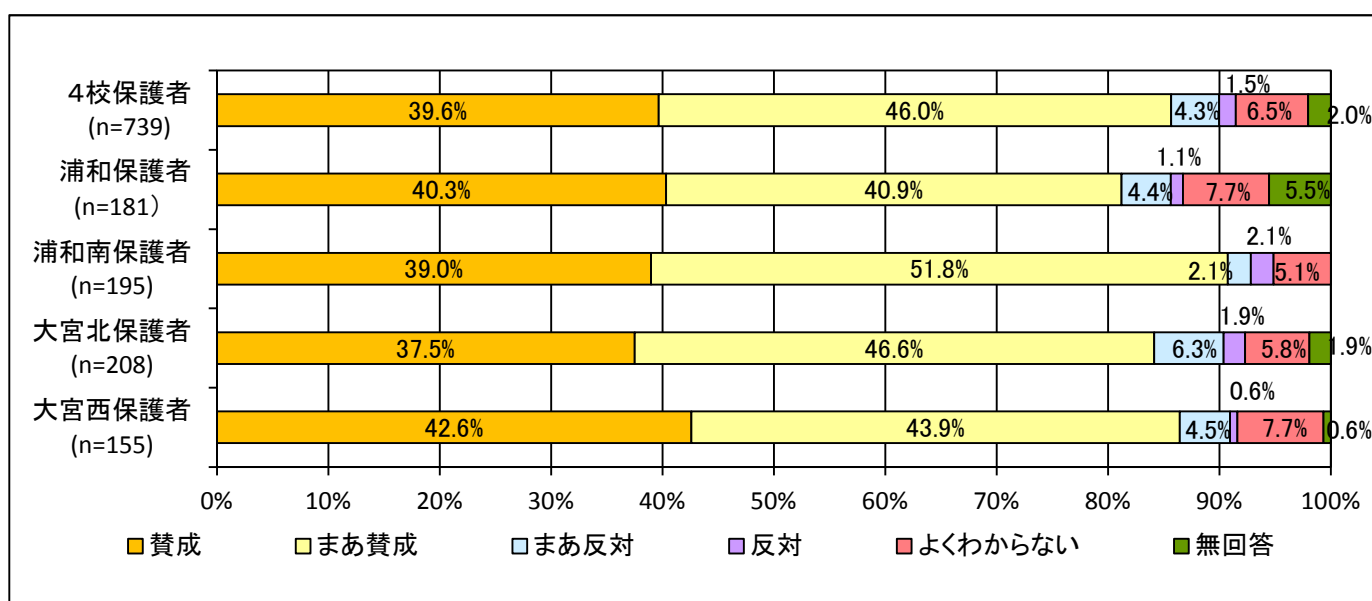
【施設・設備の充実に向けた取組】



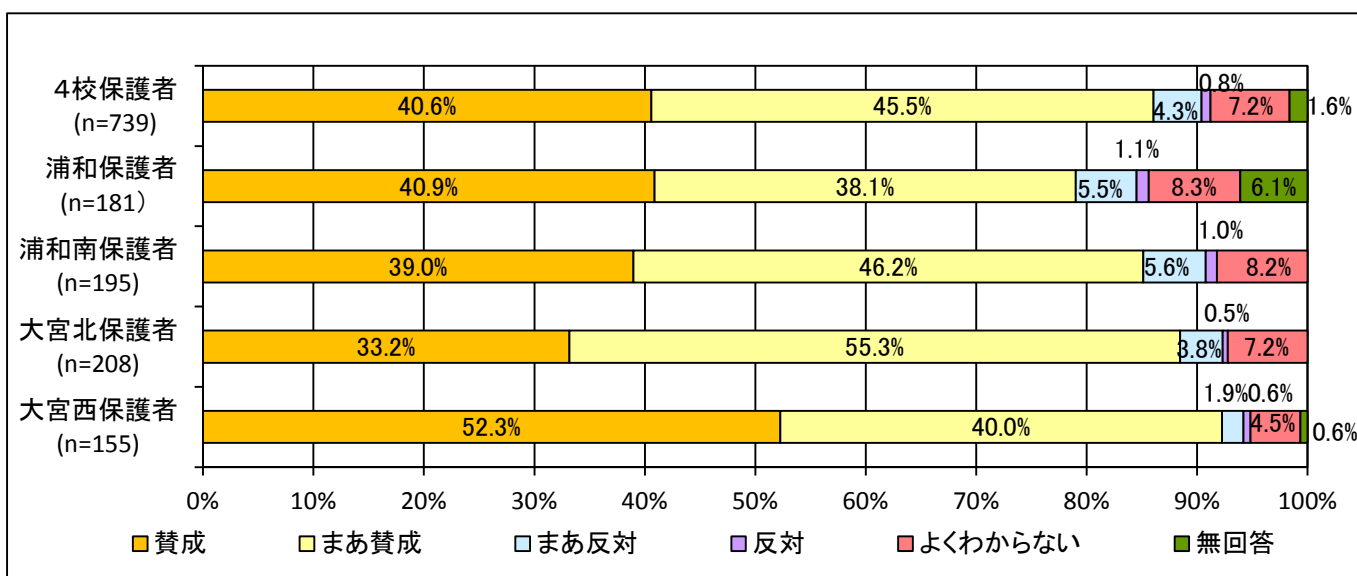
(11) 授業、学習の内容や形態についての保護者の意見（保護者）

- 4校に共通して、どの項目に対しても保護者が「賛成」「まあ賛成」と回答している割合が高い。特に、「複数担任制や少人数による指導を行う」「高校と大学との連携を充実する」については、前年度より減っている学校も多いが、「賛成」「まあ賛成」と回答した割合が4校全てで80%を超えている。
- 「夏休みや冬休みを短縮して授業時数を増やす」「放課後や土曜日・夏休みなどの補習授業を充実する」については、「賛成」「まあ賛成」と回答した割合が、「4校保護者」でそれぞれ前年度比8.4ポイント、3.9ポイントの減となり、それぞれで10ポイント以上減っている学校がある。
- (9)「生徒が望む授業、学習の内容や形態」(15 ページ参照)と関連する項目を比較すると、習熟度別授業、学習内容の選択幅拡大、少人数指導、放課後や土曜日・夏休みなどの補習授業、高校と大学との連携について、生徒と保護者とでは意識が大きく異なる。

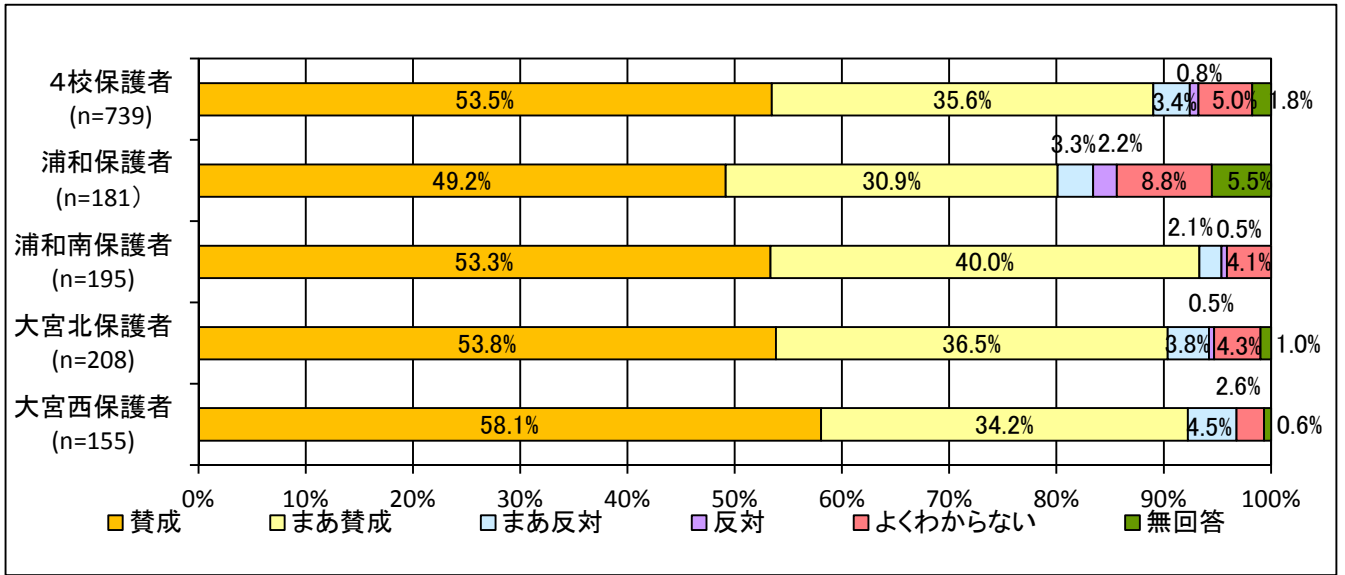
【習熟度の授業を増やす】



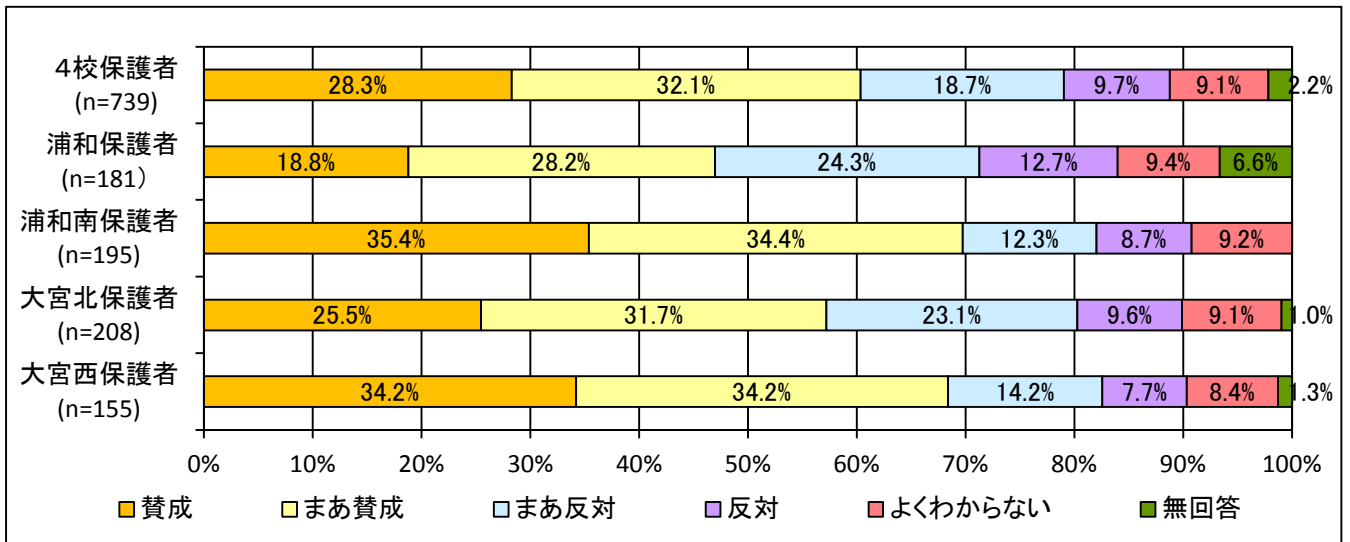
【生徒の興味・関心に応じた選択科目を充実する】



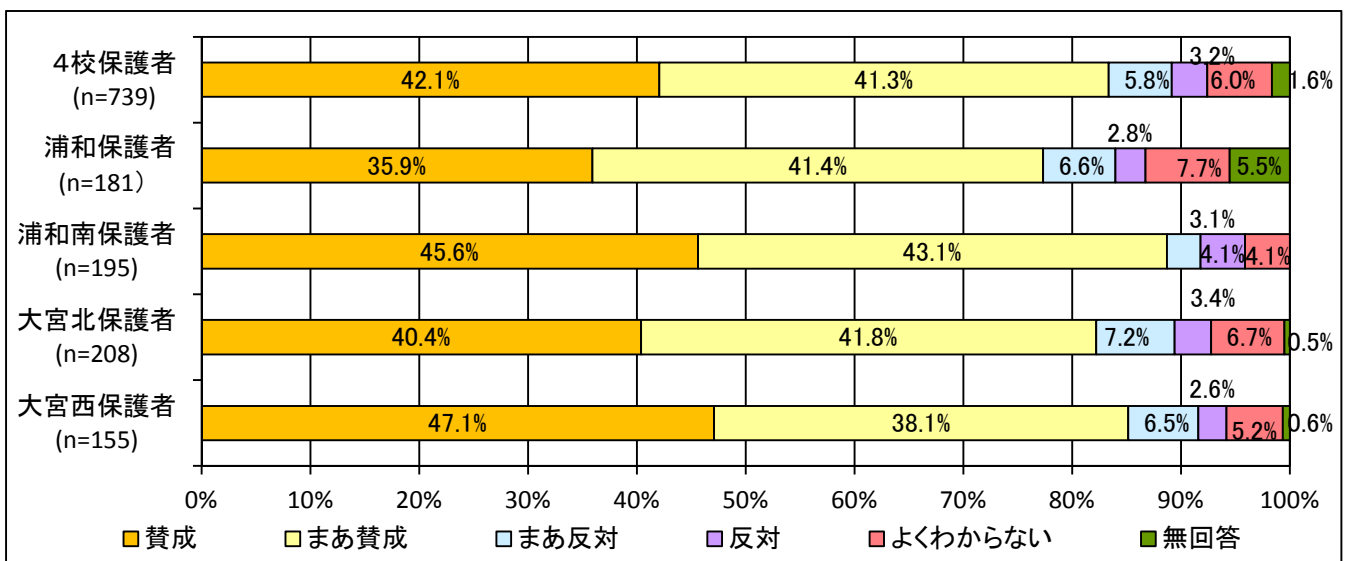
【複数担任制や少人数による指導を行う】



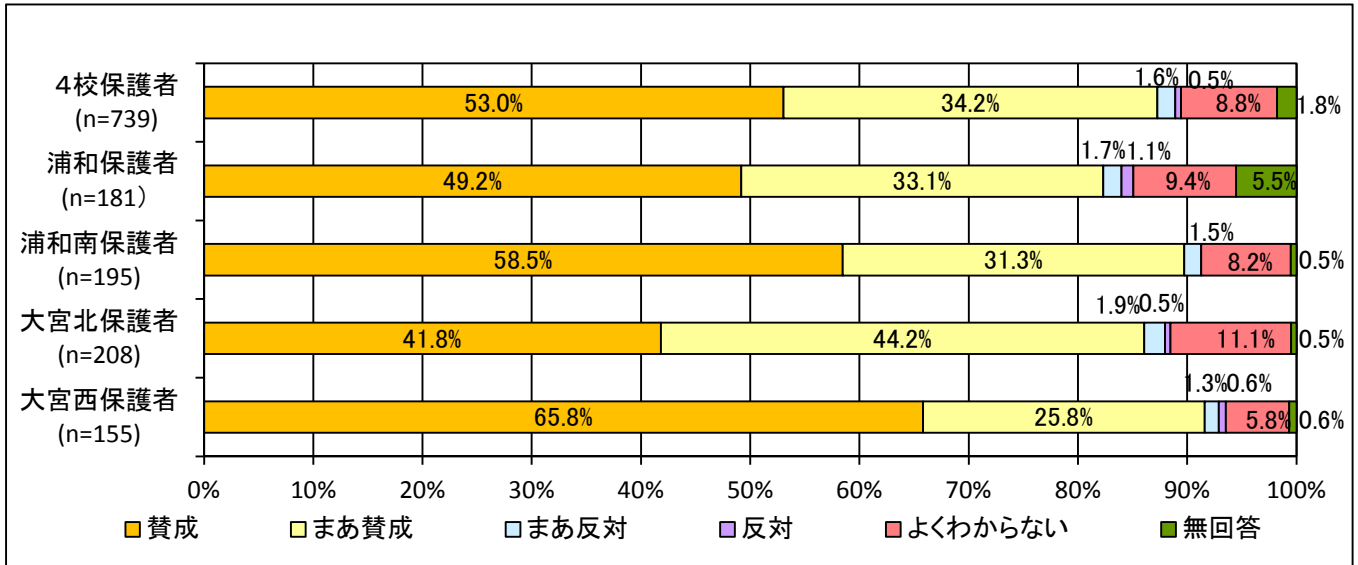
【夏休みや冬休みを短縮して授業時数を増やす】



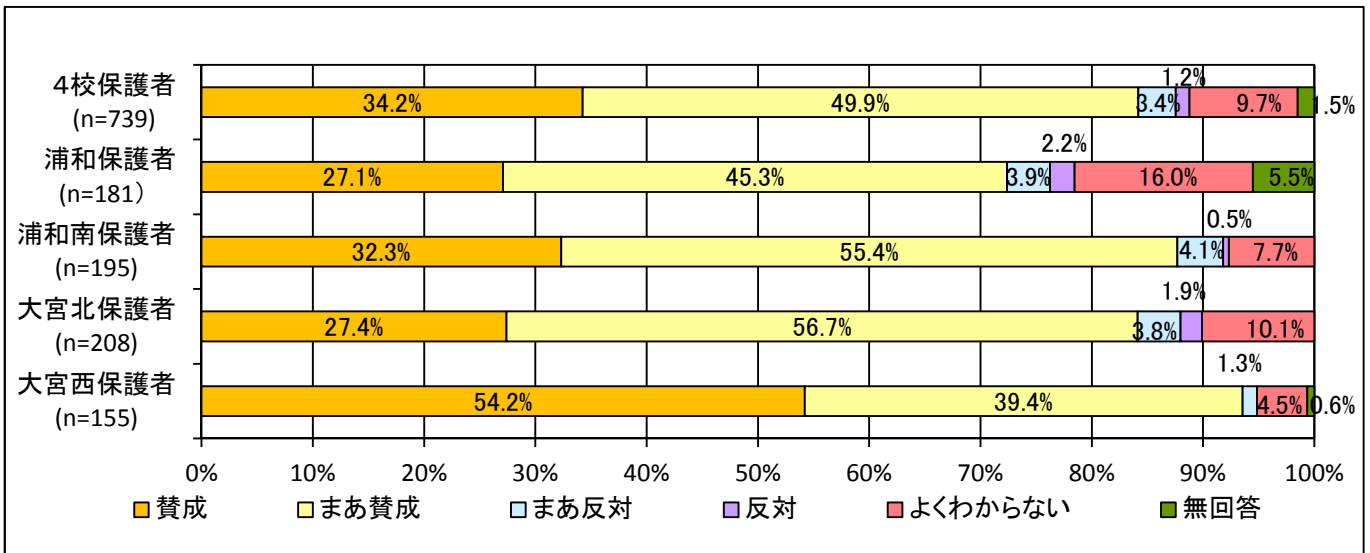
【放課後や土曜日、夏休みなどの補習授業を充実する】



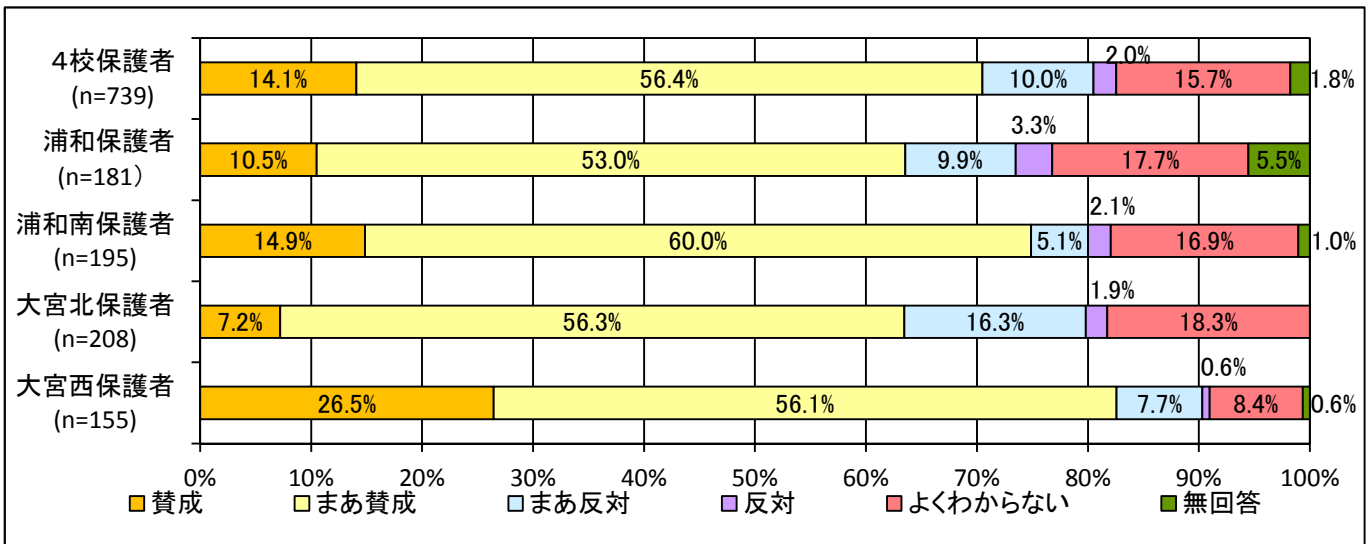
【高校と大学との連携を充実する】



【学校教育として地域での体験活動、ボランティア活動を充実する】



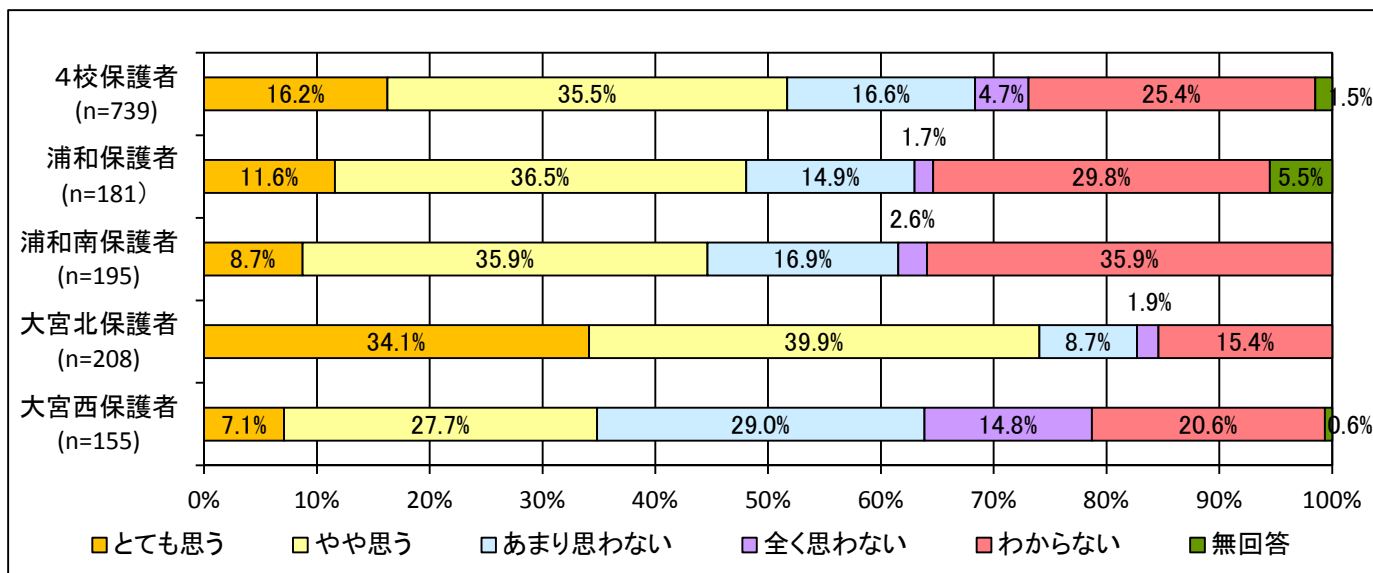
【学校公開の機会を増やす】



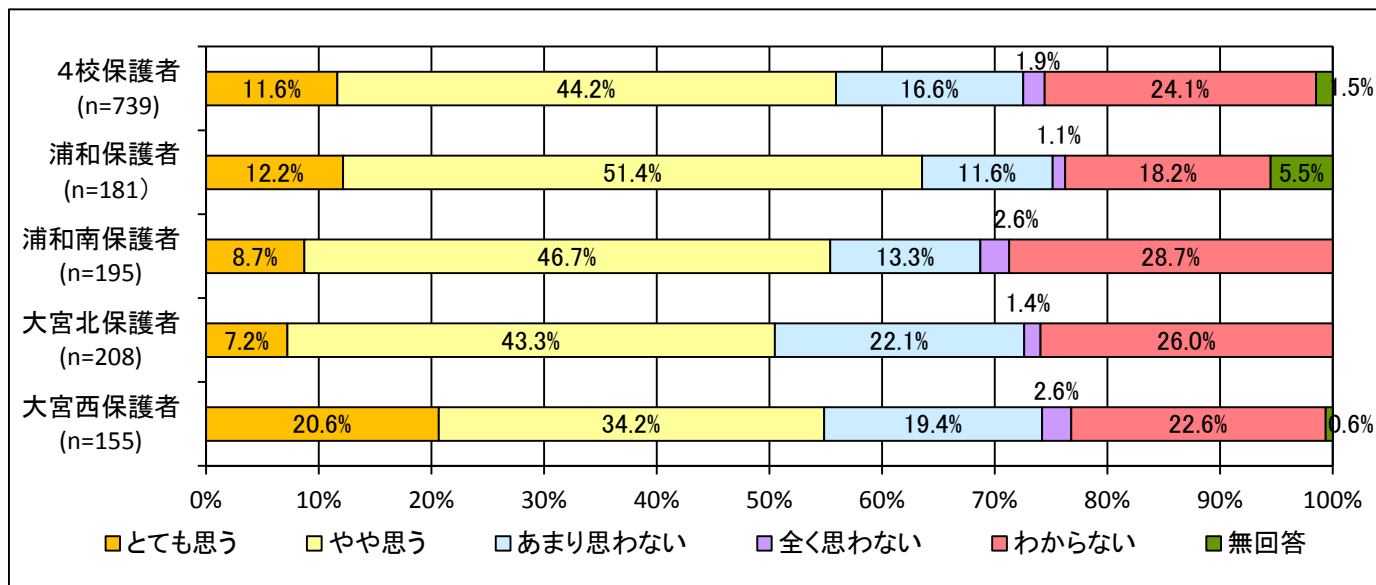
(12) 学校の経営や運営に関する取組についての保護者の考え（保護者）

- 「校長、教頭がリーダーシップを発揮している」については、「4校保護者」で「とても思う」「やや思う」と回答した割合が51.7%で、前年度比0.5ポイントの減となっている。
- 「教育目標や計画、取組を保護者に説明している」「計画に対する取組をきちんと評価している」については、各校の差が大きい。
- 「保護者・地域住民の意向や意見を学校運営に反映している」「生徒の希望や意見を学校運営に反映している」については、ほぼ全ての学校で、前年度に比べ「とても思う」「やや思う」と回答した割合が減っている。
- 学校の経営や運営に関する取組については、項目全般について「わからない」と回答している保護者の割合が高く、引き続き取り組むべき課題である。

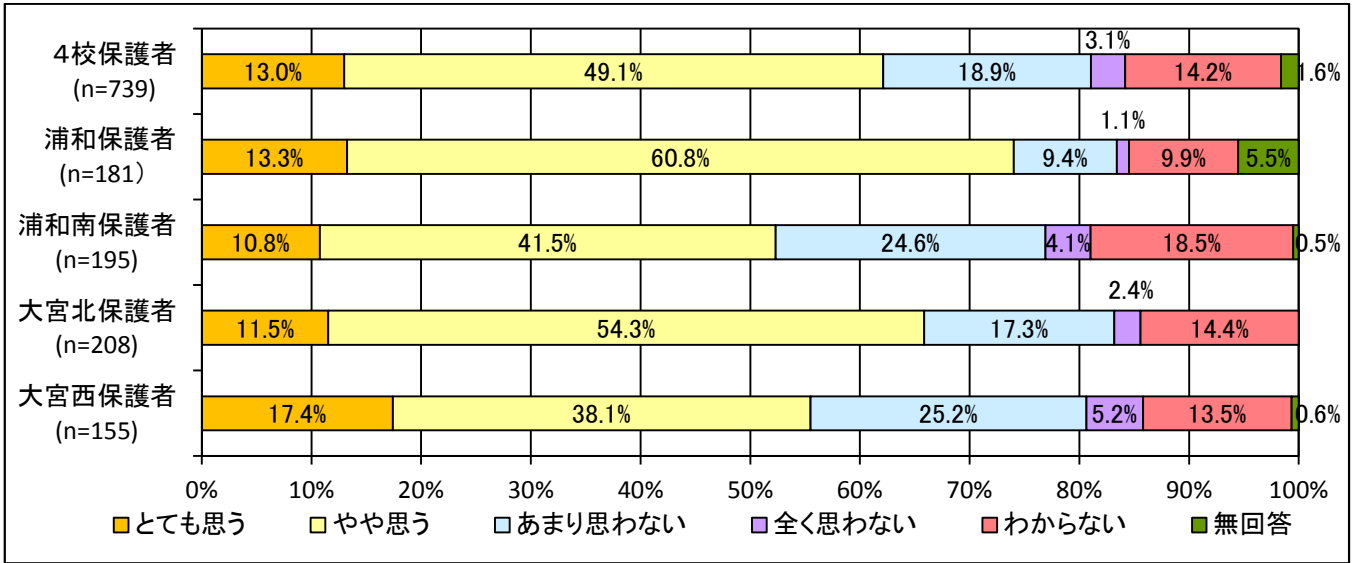
【校長、教頭がリーダーシップを発揮している】



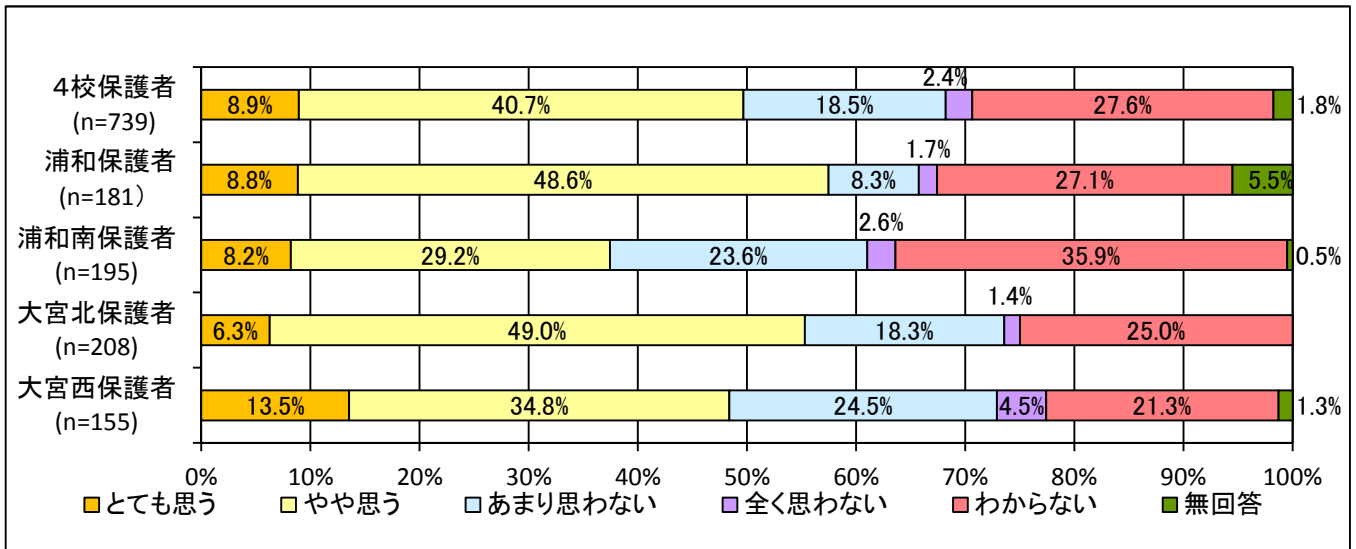
【保護者や地域と連携した取組を行っている】



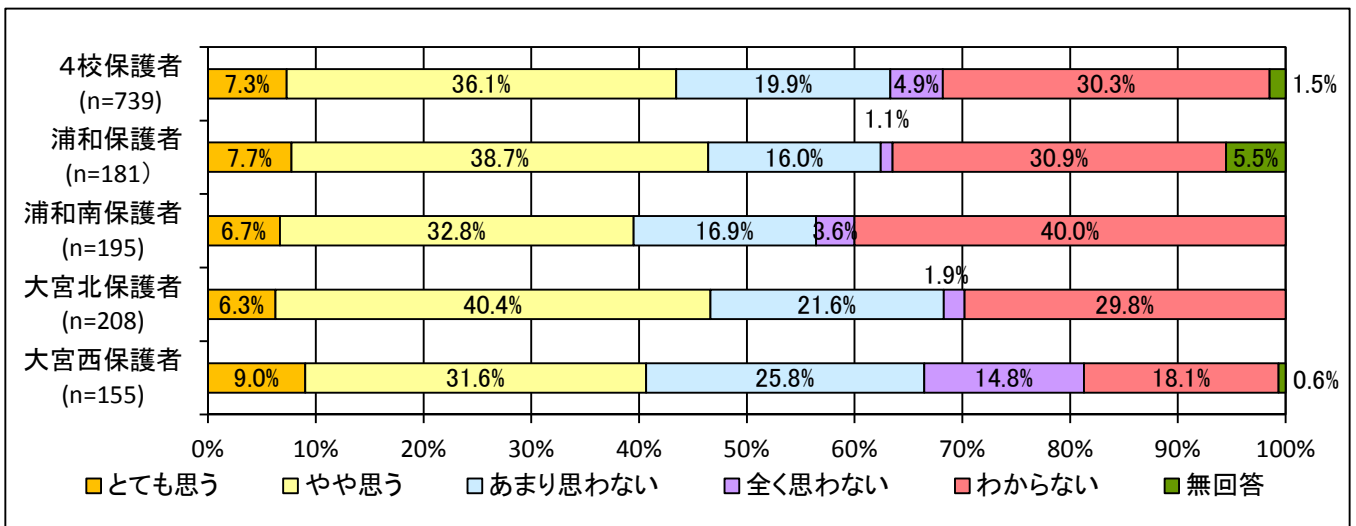
【教育目標や計画、取組を保護者に説明している】



【計画に対する取組結果をきちんと評価している】



【保護者・地域住民の意向や意見を学校運営に反映している】



【生徒の希望や意見を学校運営に反映している】

